京城日報

十一日夕刊

定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金六拾錢(郵送料共)

廣告料 ▲五號活字一行金… ▲特別…

京城太平通一丁目 發行所 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
電話 …

汽車時間表 (七月十日改正)

(南行) (北行) (行南) (行北)

◎授爵の恩命降下せん

日露戰爭並に日露新協約締結に伴ふ授爵は近く内閣の奏請に依つて御沙汰あるべく大隈首相は侯爵に石井外相加藤前外相本野駐露大使は各子爵に陞叙し尾崎法相其他一二の閣僚は何れも男爵を授けられ同時に前海相八代中將神尾、加藤定吉兩將軍にも夫れ〳〵授爵の恩命降下せらるべしと(東京特電)

◎協約の効果と露外相

露都來電に曰く露國外相サゾノフ氏は日露協約に關し記者に語りて曰く從來露國は西方に事を構へんとするや東方に於て露國に隙を乘ぜんとする諸國動もすれば其機に乘ぜんとしたるが今回の協約に依り之れは實現せざるべく強國も其の間隙に乘じて支那に於ける野心を成すことを得ざるものなかるべしとの保障の下に西部の戰局に依つて發生したる諸問題の解決に其の全精力を傾倒するを得べしと(倫敦電報)

◎獨潜航艇大西洋横斷
獨帝親翰を米大統領に傳達す

獨逸潜航艇は大西洋を横斷して紐育に着し獨帝の親翰を米國大統領ウヰルソン氏に傳達せり此事實は今夜到る處に獨潜航艇の狂暴を見るべき證左にして商船航海又復危險となり海運界の恐慌を惹起せり(東京電報)

◎李軍龍の大軍を破る
廣東城附近に薄る 岑春煊

李烈鈞氏は八日龍濟光の大軍を破り廣東城附近迄を占領せり岑春煊氏も肇慶より廣東に進撃すとの說あり(北京特電)

◎地方借款と中央の嚴命

關財政總長は張作霖に今後中央政府の許可を受けざれば何等の名義を以てするとを問はず私かに外人と借款を契約するを得ざる旨嚴命し來れり(奉天特電)

◎馮轉任說

軍務幇辦馮德麟となりしより馮麟閣は熱河都統に轉任すべしとの說あり(奉天特電)

◎寺内總督動靜

寺内總督は十日午後大島陸相を陸軍省へ訪ひ後永田町の首相官邸に大隈首相を訪問し來邸中の一木內相と鼎座長時間懇談せり(東京特電)

◎協約祝賀大會

日露協約祝賀市民大會は來る二十日附會に決定せり(東京電報)

◎金融緩慢と生糸

金融界は依然として緩慢なるも横濱市場に於ける生糸取引は頗る活況を呈し糸價昂騰せり(東京電報)

◎倫敦銀塊低落

倫敦銀塊相場低落せり(東京電報)

◎露國行菜果税

露國行菜果は早晩無税にて輸出し得る事となるべし(東京電報)

◎上田博士逝去

文學博士上田敏氏逝去せり(東京電報)

◎京城神社創立
十日の委員會にて決定す

京城神社の創立委員會は十日午後五時半より京城ホテルに於て開會せり出席者は既に其筋に提出したる創立願書に署名捺印したる七十餘名にして山口太兵衞氏推されて座長席に着し兼ねて草案となり居たる五章二十四條より成る京城神社規程に就き一同の贊否を求め二三字句の修正の上原案を可決せり同規約の大要は京城を大和町、旭町、米倉町、龍山の各方面により四區に分ち是等の各區より一名宛の町總代を選擧し更に町總代中より三十名の大總代を選擧することゝなり此大總代中より又も五名の常務幹事を擧げ一年交代にて神事の補佐を行はんとするものなり次に山口氏より大正四年度歳入出決算(收入四千三百六十九圓支出四千三百二十四圓殘額六十六圓翌年度繰越)の報告を爲し續て本年豫算の草案に就き一應協議を遂げ九時半散會したり、尚ほ同日迄に町總代の選擧を終り引續き各役員の選定を俟ち始めて京城神社の創立を終るものなるが從つて豫算も其後に於て大總代會之を決定す可きものなれど所記の草案に由る時は約七千五百圓を計上しあるものゝ如し前年度の決算額四千數百圓なりしに比し激増の感あれども其理由とする所は從來神官個人の收入となり居たる臨時收入金の如きものも全部神社入金として豫算に繰入れたれば自然收支共に著しく増大を來すに至りたるものなりと

◎協約祝賀計畫

日露協約の成立に就ては京城の官民聯合して祝賀會を催す可しとの議あり目下其計畫中なることは既報の如くなるが時機を失しなば折角の擧も興を殺ぐるの嫌ありとし金谷府尹は十一日午前京畿道長官を訪ひ打合す所ありたれば何れ兩三日中には發表の運に至る可き見込なりと

◎定例長官會議

十一日は定例長官會議日なるより山縣政務總監以下各部長官、局長、所屬官署長等は午前十時より總督府第一會議室に參集、通常政務に就き協議打合の上正午散會したり

◎辭令

十日附を以て左の通り辭令ありたり

咸鏡地方法院淸津支廳判事 肥田建吉
補咸興地方法院元山支廳判事豫審掛を命す

公州地方法院淸州支廳判事 宇野美苗
補咸興地方法院淸津支廳判事豫審掛を命す

淸州地方法院判事 結城朝陽
補公州地方法院淸州支廳判事五級俸下賜豫審掛を命す

京畿地方法院判事 里見寛二
補海州地方法院判事豫審掛を命す

公州地方法院判事 山口均四郎
補京城地方法院判事

◎佛國受賀遠慮

十四日は佛蘭西共和國祭日に相當するも佛國總領事館にては都合に依り公式の祝賀を受けざる旨を發表したり

◎レペンスキー氏逝去

東淸鐵道哈爾賓支社商業部長レペシンスキー氏は嘗てウイソテ伯の秘書たりし事あり豫て心臓病にて療養中の處去る九日遂に死去せり

◎輸移出品税格

十六日より實施のことゝなれる輸移出品の關税價格左の如し

品目	等級	單位	價格
小豆	上	一石	七圓九〇
同	並	同	七圓二〇
小麥	上	同	六圓七五
同	並	同	六圓〇〇
[illegible]		百斤	六圓三〇
牛皮	在來上	同	六四圓〇〇
同	改良種	同	六二圓〇〇
[illegible]皮	上	同	五二圓〇〇
同	並	同	四九圓〇〇

但し大豆は前月と差異なし

◎鮮銀哈市支店

豫て開業準備中なる朝鮮銀行哈爾賓支店は愈々諸手續終了に付來る十五日より開店の事に決定せしが店員は店長たる副調事阿部讓氏以下全部哈爾賓へ出張の形式の下に赴き居り同日附哈爾賓在勤となるものなりと

◎全南水害概況

六月下旬の水害に就ては先般來道廳に於て調査中の處水田の浸水六千二百八十二町歩植付未濟一萬六千六百五十七町歩にして此内稻苗の流失、腐敗せしもの三百七十町歩に及び未濟田は植付不能となれるも多少ある見込み又麥作は本年の收穫豫想高百十七萬七千五百石の所三十四萬八千五百五十九石は腐敗或は取入不可能となり約三割の減收を見るに至れり棉作は耕作町歩二萬四千百六十町歩の所流失其他にて七十九町歩の損害を蒙れり被害の最も甚だしきは羅州、咸平、光州の諸郡なりき

◎忠北春繭共同販賣 (淸州)

春繭共同販賣に就き各郡別入札を行ふことゝなり居たるが斯くては當局及び入札者に於ても多數の日子と旅費を要し不便なるより今回各郡産繭を各等級別にして見本全部を忠北道廳に取纏め同廳にて去る十七日正午一齊に開札の入札となすことゝなしたる由共同販賣額約一千五百石にて現物は忠州丹陽堤川の三郡は忠州に淸州鎭川は淸州報恩は郡廳にて受渡しをなすべき由買者の利便此上なかるべし

◎江原繭共同販賣

江原道内にても各道同樣本年の春繭は稀有の豊作にて各郡に於ては共同販賣組合にて左記の日割に依り收繭を競賣す可しと

春川	十五日	約千五百石
原州	十七日	約四百石
鐵原	十八日	約三百石
江陵	廿一日	約二百石

◎京畿道夏蠶狀況

京畿道内に於ける夏蠶狀況を聞くに目下早きは既に四眠中にあり遲きものも掃立の最中なるが總て順調に氣候共に頗る順調に進みつゝありと

◎漣川郡の繭共同販賣 (京畿道廳)

販賣は八日漣川郡に於て行ひたるに一石の落札價格は五十一圓五十錢、二等四十九圓五十錢の價格にて共同販賣されたるが右數量は百四石に達したり同共同販賣は十一日抱川、十三日加平の兩郡を以て終了の筈

◎元山商議選擧

元山商業會議所評議員選擧は豫定の如く九日午前九時より商業會議所に於て擧行され午後三時を以て投票を締切りたるが開票の結果當選者左の如し

及川久次郎、小野村慶助、矢野榮作、岡野四郎、前本彦左衛門、田中長太郎、桑谷愛介、川口武昌、小林謙三郎、木本方助、本岡卯之吉、石和房治、水力電氣會社、古賀庄太郎、増田伊之助、南井倉次郎、生駒路、泊瀬會社、晩興組

◎組合議員敷地踏査 (京城)

學校組合に於ては來年度新學期の見童を收容するため一新校舍を建築する必要ありとし其敷地の拂下を總督府に申請したる由は屢次報道せし如くなるが未だ公然の許可は下らざるも大體に於て願書の如く訓練院の一部を拂下ぐることに決定し此程組合に對し内達ありたるを以て組合は十日午前十一時より議員一同を召集し府尹、石原事務官其他の府書記同行の上實地の踏査を行ふ所ありたり該敷地の適不適は又た別問題とし組合にては公然拂下許可の指令に接すると共に設計に著手し其完了を俟つて組合會を開き協贊を求むる筈なるが尚ほ多少の時日を要するなるべし

◎簡易實業校開校式

既に授業を開始したる京城公立實業專修學校にては十二日午後八時より日出小學校内に於て開校式を兼ね官民有志數十名を招待し授業狀況の視察を求む可しと

◎白井旅團長歸任

入京中なりし白井大郎四十旅團長は兜副官諸方七十九聯隊長を隨へ十一日午前八時三十分南大門驛發列車にて歸任せり

◎京野課長辭職

朝鮮郵船會社課長京野東三郎氏は過般來の病痾の故を以て辭表を提出したるが後任は川島文書課長之を兼任する由

◎植村正久氏入京

協同傳道に關する打合のため來京す可き牧師植村正久氏は十二日午後九時南大門驛着入京す可しと

◎米界の大混戰
賣買兩派の所見

仁川米穀取引所に於ける賣買兩派の對峙は今後如何なる變化を來すか茲に暫らく見物だが取引所では六日以來既報の如く當限りの新規賣買を停止してゐるけれど尚ほ目下約定の出來てゐる米は表高五萬餘石を算し其の裏書の分を合はせたら七萬石に近からうとの說がある此多額の米を買方は本月末迄に引渡すと云ふし賣方は受取らうと力味でゐる、果して其れ丈けの現物が仁川で月末迄に纏まるか纏まらぬか、但しは其れ以前に兩派は解け合つて終ふか、何れにしても目下の見物で兩派の各々に對する所見を聞くと

▲賣方側の所見

本年の米作は全北慶南に於て大出水ありしも其他は一二萬町歩に過ぎず、朝鮮の水田總面積百萬町歩より見れば殆んど云ふに足らぬ、由來朝鮮には旱害ある位で水害なしと云ふ聲へもある位で出水を見たるそれ丈け全鮮の旱田及び例年の植付の出來ぬ數十萬町歩の面積は用水を得て挿秧を濟まし苗は青々として伸びてゐる、彼の朝鮮米價割高にして内地米の逆送を見るが如きは一に仁川に於ける買占めと恰も水害の聲に驚き持米を賣惜しめる農家の人氣と麥の流失腐敗に苦しめる水害地小農の飼料米需要等と俟つた一時的の現象に過ぎぬ、現今朝鮮の在米決して缺乏せるに非ず、當切り約定五萬餘石からの高を受取る買方の態度と水害の程度及び朝鮮米作の豐饒了知せらるゝに至らば相場の崩落期して待つべしと云ふ

▼買煽りの材料

買方は何故に米價の前途を樂觀するか(一)南鮮の水害は決して一局部でない、(二)朝鮮産米に大に影響する、(三)水害地に對する復舊策の如き到底滿足の成果を見る事は出來ない(四)貯米も多額でない、買方が月末迄に五萬石以上の米を纏め得るや大疑問である(三)大體諸物價に對し米價の現狀は安過ぎる、(四)内地米價は上るべき趨勢にあり(五)鮮米移出稅復活案の調節の聲高く鮮米の所見を有力に唱へらるゝ如き吾等の所見を裏書きするのである、荒木商店は此派の中心をなしてゐるにある、此派の牛耳は不二興業が執つてゐるらしい

▲東拓米の實狀

東拓貯米の實際に付聞く所によると直接仁川市場に送り得る米は沙里院平壤及び水原を通じ一萬石には足らぬとの事だ無論金提榮山浦大邱馬山を集むれば其の額決して少なくないけれど、之等の米の仁川に出る事は容易に事實となり得まいとの說がある

◎朝鮮彙報七月號

法院長の朝鮮の高山植物は頗る通俗にて素人にも面白く、財務課長の地方金融組合の現況、中井理財課長の國境地方の氣候は共に田觀測所長の國境地方の氣候は共に興味津々たり、新出の北朝鮮産の植物大暴風は日輪の三色版と、新出通譯官の鮮語研究は益々佳境に入る、其の他行政、産業、軍事、外國事情、雜報、總記、判決等各其收むる所數十編、紙數二百六十餘頁を算せり

仁川

▲鮮銀支店成績 朝鮮銀行仁川支店六月中に於ける成績を聞くに市場よりの受入高は六十六萬九千餘圓拂出高は六十二萬七千餘圓にして四萬二千餘圓の受入超過を示せり更に之を前月と對比すれば受入高に於ては十一萬四千餘圓拂出高に於ては十一萬九千餘圓の増加を示せり如斯金銀市場受入高が拂出高に超過し銀行券は回收一方なる爲め夏季閑散期に際し米況依然軟調の爲め新規材料に乏しかりしも月末は多少の流轉繁忙を示せり

忠州

▲判事分隊長出張 公州地方法院忠州支廳判事及び忠州憲兵分隊長有馬大尉は檢事會議列席の爲め五日公州に出張十二日歸任の筈 ▲郡守出張 徐忠州郡守は八月一日より公示すべき忠州郡土地臺帳及び地稅關係の爲め十日淸州に出張十一日歸任

大田

▲工事起工式 大田沃川間十一哩鐵道改築工事は白川組へ落札せしも尚ほ起工式を何れかの組になさしめる筈にて近々決

大邱

▲高靈地方農況 降雨打續き水分豐調に過ぎたる爲め一般農作物の成育阻害され遲れたる麥の流失せるもの又少なからず水稻は昨月中旬より挿秧を開始し本月中旬頃まで全部終了の見込みなれど昨年の如く雨水に缺乏を告げざれば多少流失せる稻苗ありたるも收穫は昨年よりも良好なりと觀測さる▲服部警務部長歸邱 慶尚北道警務部長服部氏は過日より道界視察の途にあり十二日歸邱▲岡田技師歸京 地方技師岡田氏は十日午後一時入分の列車にて忠州

井邑

▲橋梁架設 先月出水の際邑内重要の四橋梁及び其他の橋梁流失せし爲め一般交通並に貨物運搬上に支障多く之が復舊を急ぎ居たるが學校組合管理者吉村氏委員長となり林憲兵分隊長韓郡守及び井邑協議會幹事出席にて協議會を開き金總額四百圓にて假橋を架することとなり内鮮人共組合費一箇月分を標準とし内地人二百圓鮮人二百圓の共同醵出を爲す事に即決し既に工事に著手せしを以て近々全部の交通を見るべし ▲一般農況 稻田の被害甚大なりし爲め一般に出來秋を悲觀し居れるが埋没地は火急の間に合はざるも浸水の爲め植付苗の枯死せる所には金堤其他附近各地の剩餘苗を貰ひ送附し來り是れを補植し且つ從來植付不能なりし畓地までも水田となし是等に植付けしに依り積豐富の爲め植付なしたると畑地を以外の好結果を得八分作には至るべし、此儘にて天候快晴に至らば出來秋は ▲野菜類は從來移出し居たりしにも拘らず新村農場浸水の爲め全部收穫不能となり其他に於ても被害ありたるを以て移出不能と云ふよりも或は移入するに至らずやと豫想せられ居れり、菓實類は多く河畔に植付けられありたるを以て同じく被害あり半作位なれば移入を見るに至るべしと豫想せられ居れり

釜山

▲松本慈惠醫院長出張 大邱慈惠醫院長松本安正氏は巡回診療視察の爲め十日より五日間の豫定にて慶州郡甘浦へ出張せり

▲釜山協議會 釜山府にては去る十日午後一時より協議會を召集せしが出席者十名にして大正五年度更正豫算並に追加豫算を附議し滿場異議なく是を可決し午後三時頃散會せり ▲學校組合會議 釜山府にては去る十日午後一時より府廳樓上に於て學校組合會議を開きしが出席者は水野志賀其他數名にして大正五年度更正豫算並に追加豫算を附議し何れも原案の通り可決せり ▲小學敷地買收 釜山學校組合にては第六尋常小學校敷地として現傳染病院敷地を買收することゝ決定せしが同敷地は千九百九十二坪にして其の價格は七千三百圓なり ▲南鮮銀行總會 同行にては來る二十四日株主總會を開く筈なるが株主配當金は六千二百五十圓にして年一割なる由 ▲各銀行預金額 釜山府に於ける各銀行の預金額は總計約三百萬圓にして内第一銀行支店は百五十萬圓朝鮮銀行は五十萬圓第十八銀行は四十萬圓釜山商業銀行、慶南銀行其の他は約十萬圓内外のものなるべし ▲商業會議所刷新 釜山商業會議所にては今回内部の刷新を行ふと共に從來書記長心得の更迭を行ひしが從來書記長心得なりし北輪熊次郎氏は新に書記長に昇進し又調査課主任書記淺野幸太郎氏は一身上の都合に依り辭職したり尚ほ同會議所にては近日中に事務室其他を階下に移すべし ▲學生觀察團 廣島高等師範學校生徒七名は教員數名統率の下に今十二日朝の連絡船にて釜山に上陸し市内見物の上元山に入り進み井里其他を視察して來る十八日京城に入るべく又東京女子高等師範生徒數名は教員統率の下に來る十四日朝釜山に上陸したる上京城、仁川、平壤等を見物すべし ▲輸入商組合 は十二日午後七時より商工俱樂部に於て總會を開き本年上半期の決算をなす可し ▲岡判事赴任 今回釜山地方法院より安和島區裁判所判事に轉任せし岡避氏は十一日夜連絡船にて赴任の途に就けり

人事消息

▲米垂暎氏(宇尚) 十一日朝龍王寺へ
▲野田卯太郎氏(東拓副總裁) 十一日朝元山へ
▲江副廉藏氏(大倉組) 十一日朝入京天眞樓へ
▲足達尊夫氏(古川鑛山技師) 同上
▲キーター氏(米人世界漫遊者) ▲カーター夫人(米人) 十一日朝入京朝鮮ホテルへ
▲木崎榮次郎氏(總督府技師) 日本山林大會に出席の爲め十一日午後七時五十分南大門驛發列車にて島根縣松江に出張
▲正田長…氏(土木局技師) 慶尚北道に出張中の處此程歸任

◎大塊翁の北行を送る 象耳

風蕭る平康の原野明け行く

○

大塊の北行するや風蕭る 虎

戰ひま

●不敬漢鹵簿を犯す
一私人に關する直訴狀を携帶す

天皇陛下には帝國大學卒業式行幸の御爲め十日午前九時三十分宮城御出門順路本郷三丁目通御の砌突然一人の不敬漢現はれ畏多くも鹵簿を犯し一間半許り近づけるを警戒の巡査の爲め取り押へられたり右は原籍鹿兒島市冷水町當時本所區小梅業平町木賃宿新福井屋止宿の林正助（三〇）なる者にして

▲精神に異狀あり目下嚴重に取調中なるが不敬漢林正助の直訴狀に記載せる事柄は全く一私人に關する事にして鹿兒島市新照院山の山法師秋山政之助なる者狐を使ひ人に迷惑を懸くるのみならず同市新馬場通吉川新造の依頼を受け自分を祈り殺さんと企て居れば萬民の爲め制裁あらん事を云々と認めたり右に就き

▲一木内相は十日午後零時參内天機を奉伺したる後波多野宮相に面會し不敬漢の鹵簿に迫りし件に就き取り調べの結果を報告し野口警視廳警務部長も近藤總務課長を宮内省に訪問不敬漢取押へ顛末を報告せり（東京特電）

●地洋丸事件の裁決
ベント船長は免狀四箇月停止

地洋丸船長ベント氏並に坂井一等運轉士に對する裁決は八日午後一時三十分より東京地方海員審判所第一法廷に於て言渡さる當日はベント船長の姿は見えず一時三十分に至つて缺席の旨届出あり之より直ちに開廷關係者の辯護人ベント船長に代り坂井一等運轉士と共に出廷審判官理事官列席審判長嚴然と裁決文を朗讀しベント船長は四箇月免狀行使停止坂井運轉士は

▲懲戒も問はざる旨言渡され同十一時五十分閉廷せり坂井運轉士は喜色滿面に現れ『私は斯くも譴責處分は受ける事かと覺悟して居りましたがこれも賢明なる審判官の御蔭です』と語りながら伸びをして席を去つたが鈴木辯護士は曰く『坂井一等運轉士に罪の無い事は當然であつてベント船長に對する言渡は至極適當と考へます寧ろ世間では輕かつた事に驚く位でせう』因にベント船長は此裁決に對しては抗告せず不日歸國の途に就くべし（と云ふ）

▲裁決書
大不列顛國人 被審人 アーネスト、ベント
關西縣兵庫郡岩岡村 被審人 坂井八郎

（前略）本船乘揚は被審人ベントが當時香港附近の周歲中降霧最も多き季節たるに拘らず該季節は既に經過せるものと漫然誤信し降霧に關し格段なる警戒を用ひず且當季節には本船航路線上に於て不定の潮流あるに拘らず航海中風向不定にして風力微弱なりしにより當時跡航海面に於て全然海流存在せざるべしと臆斷し之が警戒を加へざりし

▲職務上の過怠に起因するものにして其所爲は海員懲戒法第一條第二號に該當するを以て同法第二條第二號を適用して處分すべく被審人八郎が乘揚の前後に執りたる措置に關しては敢て咎むべき廉なきを以て其所爲は同法第一條各號に該當せざるものとす依て裁決すること如左

被審人アーネスト、ベント受有甲種船長免狀の行使を四箇月停止す被審人坂井八郎に對しては懲戒を加ふべきものにあらず審判費用金廿圓は被審人アーネスト、ベントの負擔とす大正五年五月八日東京地方審判所審判廷に於て言渡す東京地方海員審判所理事官永野馬太郎本件に干與す

審判長地方海員審判所審判官 高取安太郎
地方海員審判所審判官 那倉知顯
地方海員審判所審判官 香取修平
地方海員審判所書記 中島信一

●又も南鮮の洪水
各地との交通杜絶す

慶尚南道地方に於ては去る六日夜半より翌七日に亘り豪雨ありたる爲め又復諸川氾濫し耕作物其他に尠からざる損害を被りたり

▲橋梁の墜落 咸安郡の河川は増水一丈に及び郡北面の橋梁の中央部七間餘墜落せり同地は馬晉道路の中間に位し交通上尤も必要なる地點なれば自然此の區間の自動車は運轉を中止せり又馬晉道路は到る所損所多く修繕工事には多少の日子を要すべく其他鮮人家屋の浸水崩壊等尠なからず泗川面内に於ては田畑の浸水多く殊に晃陽附近は最も影響し三千浦晉州道路の中間なる十水川は橋梁の中央部三尺餘墜落し郵便物及び交通杜絶せり被害田反別其他調査中なり

▲南江の増水 晉山郡内大和川沿岸を中心とし同河の出水一丈二尺邑家屋約七十戸にして此の他家屋の倒壊道路の決潰八箇所浸水田畑尠からず梁山郡邑にては河川増水の爲堤防三十間崩壊し交通杜絶す晉州郡内は格別の被害なきも南江上流の増水氾濫し渡船は總て中止せり

●歩兵大尉拳銃自殺を遂ぐ

全北茂長守備隊長歩兵大尉杉浦清次（三七）は十日未明居室に於て拳銃にて胸部及び腳部を貫き自殺を遂げたるが前日迄は何等變りたる樣子もなく又書置等もなければ死因全く不明也

●臺灣沖の海賊船

去る二日午前七時頃より臺中廳下大安港沖合に一隻の海賊船現はれたるが同地沿岸の本島人及び税關員は今日迄斯かる船體の船を見たる事なし……海上遠く南方に走り去れり然るに午後六時に至り復又大甲支廳下南庄沖の三和川を渡らんとし游泳中溺死す 三日午後二時頃飲酒の上同面高井里……支流の岸邊通行中川中に墜落溺死せ……井戸に落込み溺死 ▲同郡同面新枝里の…… （三）は七月四日午前十時鳳凰宅裏の……

●朝日山死去す

大阪相撲協會取締朝日山四郎右衞門氏は豫て病氣の爲め大阪病院に入院加療中の處十一日午前五時終に死去せり屍骸は天王寺の自邸に運び目下地方巡業中の大阪相撲に打電し葬儀等に就き協議中なり享年五十一（大阪特電）

●子を抱て投身

高松高等女學校長朝岩次氏夫人こと子（四三）は子息隆雄（二）を抱き十日夕刻高松港に投身せるが原因は精神の異狀を生じたるに依る（高松特電）

●京城弓術發起會

朝鮮の弓術は古き歴史を有し六藝の一として武科の科擧にも用ひられたるものが近世には一種の社交機關となり現今は殆んど衰微の極に達したるの狀態に在り今春朝鮮聯合會に於て弓術大會を開き多數の觀客ありて其射法の巧妙にして作法の正しきことは非常なる稱賛を博したるが今回趙子衍阿部本社長、嚴柱益諸氏發起となり來る十三日午後二時より興化門内黃鶴亭に於て其發起會を催す可し

●圖太い老爺

仁川外里九十四番地王致順（六四）は去る四十四年十月六日京城地方裁判所にて賭人罪により八箇月の處分を受けたる曲者なるが本年六月二十四日午前三時頃仁川里龍昌煥方に忍び入り衣類雜品二十三點を竊取し此程仁川支廳にて懲役十月に處せらる

●二十歳で取締
▽人の世話と事業好 ▽逝いた朝日山の事

別項大阪特電の如く大阪相撲協會の取締朝日山四郎右衞門は今春の合併によつて復活の曙光を認めた大阪大相撲の盛運を眼前に見ながら病のために卒去した、同人と大阪相撲協會とは

▲離れ離き關係になつてゐると同時に朝日山あつての大阪相撲協會で實に同協會の柱石であつたのだ、同人は大阪天王寺小堀口の酒屋の息子で角力が好きで若い時分から素人角力をやつてゐたものだが、二十五年頃素人海、若島の盛んな分に五所車と言つた先代朝日山の門に入り岩ヶ谷岩藏と名乘つて

▲幕内の中頃迄進んだその内師匠の朝日山が發狂したが師匠思ひの彼は殆んど寢食を忘れて同人の看護に努めた甲斐もなく先代朝日山は不歸の客となつたけれどもその關係から二代目朝日山となり二十九年に未だ三十歳を越したばかりで協會の取締といふ重任に就き隨分腕を振つた結果

▲今日の盛運を見たのである、一體同人は事業好きの男で第五回勸業博覧會後其會場跡に今の新世界を設けて盛に興行に手を出したりなどしてゐた、今でも朝日館、朝日座の如き外三四の寄席劇場を持つてゐるが興行の方では多く失敗してゐる、今では難波新地の芝居裏から自分の

▲生れた土地の天王寺の朝日座の中に引越してゐるが人の世話をする事が好きで此頃朝鮮を巡業してゐる浪花節の桃中軒如雲なども博多から引連れて來て大阪京都から東京へまで出してあれまでに仕立てゝ貰つたのだ、彼は大阪では無くてはならぬ顏役になつて居り各方面との交際も廣く中々勢力があつたのだが誠に惜しい事をしたものである

▲積箱積樽
角力場装飾成る 例年にない景氣

明治町の角力場には西田、伊藤の兩勸進元協會の追手風、早櫻などが詰め切つて指揮監督して二三日來設備に奔走した結果、素敵立派に出來上がつた、土俵も

▲棧敷も土間も綺麗に整理されて、四本柱の上から棧敷にかけてサクラ麥酒、日本麥酒の大旗小旗が赤青白の色とりどりに張り廻されてゐる、棧敷には正面三方共に

▲棧敷の買切が掲げられお茶屋には矢張り美しい幕が廻されてお茶子がぞろぞろ働いてゐる

▲仲茶屋一手引受けのやぐらの主人は何かと世話を燒いてゐる、木戸前にはサッポロ、サクラ兩ビール東亞煙草の積箱から山邑京城支店の櫻正宗の積樽が山を成して櫓にはサッポロ、サクラ兩麥酒の幕で覆はれ、愛宕々々から西の海、大錦小常陸、鍵山等に贈つた大幟が威勢よく翻へつてゐる

▲素晴しい景氣だ、勸進元の西田君は『こんなに景氣よく裝飾の出來たのは今年が始めだ』とニコニコしてゐる、大日本、帝國兩麥酒の引合ひが斯うした景氣を産んだのだ、何にしても盛な前景氣である、見物人はまだ初日の出ない角力場の前に絶えず人山を築いてゐる

▲一行の乘込み
▽十二日午後二時 ▽初日は十三日と極る

木浦興行が雨天のため一日延期となつたゝめ一行の京城乘込みは十二日午後二時二十五分になり隨がつて初日も十三日となつた日本麥酒、帝國麥酒共に一行到着の際は樂隊を以て盛んに出迎ふべく花柳界の出迎へと相俟つて賑ひを呈する事であらう、取締出羽の海は十日夜著京の筈の處都合によつて一兩日延期したと

△棧敷豫約と團體 棧敷は正面の上等に殆んど好角家によつて五日間買ひ占められ三方も頻りに豫約されてゐる、宛かも三日目四日目が土曜日曜に相當する事とて官衙會社銀行の團體見物は盛んなるものである上に地方からは永登浦の在郷軍人會連中が團體で申込んで來たのを始めに水原、開城等の地方から棧敷の豫約を申込んで來る向が尠くない實に珍らしい盛況で市中の人氣は全く相撲に傾いてゐる模樣である

▲場内に自動電話 例年の如く角力場の中には一般觀覽者のため自動電話が設備された

社会研究 旅藝人の話（四）
—遊芸一行の内幕—

なぞと誇らない私共の仲間では何んぞ惡戯者の多い惡戯をします、それが旅へ出ると一入酷くつて常々それを承知してゐながら迂濶引掛つて手を拍つて笑はれる事があるんです、そしていたづらの多くは女の一件から來るから可笑しいぢやありませんか。元來落語家が女の子に何んとか思はれやうなんて了簡でもない

▽量見を起す のが抑もの間違ひなんですが其處がそれ自惚れといふものが何やら以上にあるもんですから、ツイその一丁度高島へ行つた時でしたね、軍艦見物に行つて可なり疲かれて宿へ歸つてくると、女の聲で電話が掛つて來ましたね。それを聞くと大和家ちやんと大茶屋の藝妓なんだが師匠お前さんが來たら是非一度御飯でも喫べたいと思つてゐるんだが、就ては明日の晩××といふ家へ附合つてくれないかつていふですね。此方は素より願つたり叶つたりでさあね

▽その藝者こ いふのは知らない人なんですけれども、宜しう御座いますつてんで、一座の者にもどうだい俺なんか來る早々豪勢じやあねいかツてな調子で鼻を高くしてると二日經つても三日過ぎても何んとも言つて來ませんね、こんな筈ぢやあなかつたが——と一座の手前多少極まり惡く思つてると四日目の晩に漸く電話がかゝつて來て大變失禮した、少し都合があつて約束に背いたけれども、今夜後から出掛けて行くから是非××へ行つて待つてゐて呉れろつていふわけで

▽待てば海路 の——〳〵とばかり早速罷り出ましたよ、さあ行つて見ると一時經つても二時經つても姿も見せない、行つた家は淫賣屋みたいな穢苦な家でしたが、女中に聞いて見るとまだお見えになりませんとばかり、その内に電話に掛かつて來て今少しすると行くから少し待つてくれつてふんで遣な待つてゐるうちに三時をすぎて眠くはなるし不覺にも倒れてしまつて翌る朝十時頃に眼を覺して見ると誰もゐない。到頭待ち呆けを喰はされて酷い奴があるものと其處の家の者にブン〳〵

▽當り散らし て寢不足な眼を擦り〳〵馬鹿な顏をして宿へ歸つてくると一座の者は言ひ合はした樣にクス〳〵笑つてるぢやありませんか。だん〳〵聞いて見るとうまく擔がれたんで宿の女中を使つて一芝居書いたんだと判つた時には忌々しいと思ひましたが考へて見ると例る因果の緒束が此方へ廻つて來たので致し方が無いといふのは、道中女の僞手紙を書いて三尺坊を態々旅費を使はして欺ましたり、その外に二三人を隨分酷い欺し方をしたのでしつぺい返しを喰つたのでしたこんな

▽惡戯の仕合 をしては子供の樣に喜んでゐるのも旅へ出た面白さです。又同じ高島で昭演の櫻を見に行つた時に一座の大阪者が感心してるのを東京者が、串戲言つちやあ可けねえ、イョー世界一だなんて頻りに褒めてるのを……もつと綺麗だ、こんな櫻なんざあ足元にも寄つけねえ。イヤ東京の櫻は見た事が無いから知らぬが此の櫻は大したものだ——ナアに斯んな櫻——つてわけで道路の眞中で東京大阪の大論判となり今にも

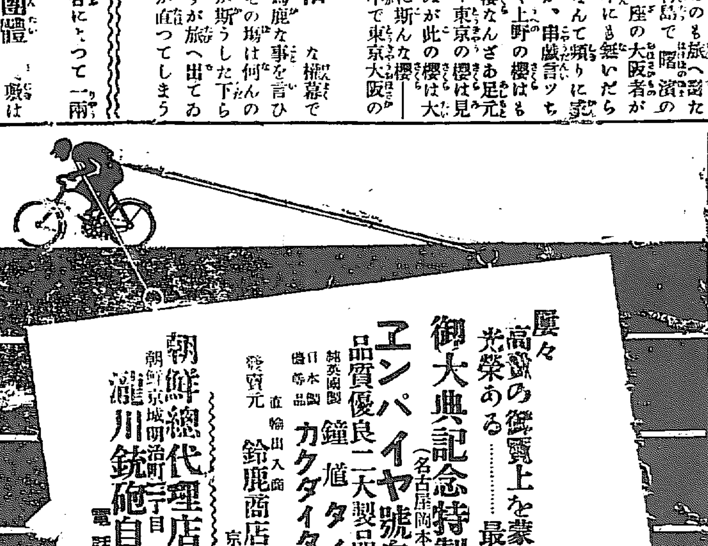
▽摑み合ひ相 な權幕で遣り合ひましたが、馬鹿な事を言ひなさんなといふのでその場は何んの事なく納まりましたが斯うした下らない事は始終ありますが旅へ出てゐる有難さで直ぐ又分が直つてしまうのです

かつけ妙藥
命のおや◉醫師の證明有△一周間分 五拾錢
大阪東區上本町五丁目停留場角 西田瑞穗堂

冬メリヤス荷揃

ボール印メリヤス
防寒用 手袋、靴下、首卷各種
●体裁優美 裁縫完全 堅牢無比
尚本年は原料騰貴致し居候得共弊店は幸に格安の品種々取揃居候間陸續御注文被下度候
ボール印メリヤス發賣元 大阪市東區南本町 山村英三商店
電話東四三一七番 ◉振替大阪一〇三六八番

●國旗並に玩具
●諸雜貨賣次卸
大阪順慶町三丁目 西芳商店
◉御照會は郵券封入の事


屢々高貴の御賞を蒙りたる光榮ある………最高級車
御大典記念特製品
エンパイヤ號自轉車（名古屋岡本製作所製品）
品質優良二大製品
純英國製 鐘馗タイヤー
日本製 優等品 カクダイタイヤー
發賣元 直輸出入商 鈴鹿商店自轉車部 京都本店
朝鮮總代理店 朝鮮京城明治町一丁目 瀧川銃砲自轉車店 電話三〇二番

眼科内科 小見科 入院隨意
京城黃金町三丁目電車通（電話二四四三番）
院長 本田建義
本田醫院

比較上の最良の撰擇法なり
サクラ正宗

サクラ正宗
京城明治町一丁目 山邑京城支店
電話八四九番 振替……七番

▲十一日 晴 十二日 曇但少雨
日出 五時 二十一分 日没 七時 五十六分

●發展すべき

日露貿易

□露領に於ける製造工業

□今回日露の協約が出來ました以上は經濟上にも圓滑な關係が結ばれたいものと思ひます

□戰亂以來露西亞の市場に絕大なる勢力を有つて居た獨逸商品も今では日本製品及び米國製品に取つて代られて居りますが日本製品は先づ雜貨類、藥品等の原料品を除くの他あまり成功して居らぬやうです

□これは日本の製造業者がお隣の支那向輸出品と同じとに思つて[illegible]に粗製濫造品を送つた結果[illegible]且つまた數量に於ても萬事大仕掛[illegible]の米國に及ばぬからであります

□今回の如く日露兩國が互に相提携した以上はわれ／＼の希望としては先づ西比利亞に日露合同の銀行を設立することと浦港を自由港にして貰ふことであります

□併し後者はこれまでの經驗もあり到底不可能事とする今後西比利亞に於て邦人が好感情を以て迎へらるとすれば彼地に於て製造工業を起すが一番だと思ひます

□斯くすれば露國の領內で工業を起すこと故輸入税も免除されて面白い事業になることゝ思ひます

□また現下の如く露本國の物價騰貴では輸入品の商賣は引き合ひませぬからドシ／＼當方から商品を輸出するに限ると思ひます

□幸ひ近來荷爲替なども圓滑に取纏めるやうになりましたから日露貿易に從事する者は此の際奮發一番せなければなりませぬ（青木氏談）

恐しい蠅退治

□一萬本の蠅叩きを配布

△朝鮮の夏には蠅が多いのでまことに困るとは誰れしも感じるところでありますが從來は朝鮮の人が餘りに無頓著だつた爲め一層蠅の發生が甚だしかつたやうに思はれます

△併し近來は朝鮮の人も蠅の恐るべきことを知るやうになり何處でも熱心に蠅の驅除に努めて居るのは何よりのことと思ひます

△また京城府に於ても蠅の驅除法を勵行し一面田中囑託を巡回せしめて府內各學校の生徒に蠅の危害あることを知らしめて居ります

△それで今日まで蠅の講話を聞いた人は約二萬[illegible]以上に上つて居りますがこれ丈けの人が注意するだけでも尠なからぬ功果があると思ひます

△また各學校生徒の爲めには櫻洞の[illegible]を以て作りたる蠅叩き一萬本を購入して配付し昨今頻りに蠅取りに努めて居ります

△三日西大門小學校の成績を聞くに生徒八百五十名[illegible]取り數は五萬四千五百卅四匹に上り一人平均六十四匹に當ります

△兎に角各自の御家庭にても此の際ゴミ溜等に注意してなるべく蠅の發生を防ぎたいものです

露國外相サゾノフ氏と本野大使

□あゝ俺も日本に行つて見たいな□

◇今回の日露協約の立役者の中で露國の外務大臣サゾノフ氏と駐露日本大使本野一郎男の二人は怎麼人であらうか

◇露國外相サゾノフ氏は彼のポーツマスのウヰッテ伯とも比肩すべき現露西亞の第一流外交家である

◇氏はペトログラードの大學院とてわが國の學習院に[illegible]つた人である

◇されば氏が多年の蘊蓄は一つは倫敦の參事官に他の一つは羅馬の公使になつた位であるが餘は悉く內に在つて外務省の活字引とな[illegible]た

◇氏が外國に使臣たりしは前後僅かに二回のみで其の餘はむしろ三十年間一日の如く露國外務本省に働らいた人である

◇[illegible]學校を出で爾來も比すべき[illegible]爲し去る明治四十年頃年齡四十七歲で愈よ外務大臣の椅子に就いたのである

◇爾來氏はゴレムキン內閣でも現內閣でも引續き七年餘其の任にあるが氏はむかしから有名な日露親近論者で常にノーウエ・ウレミヤ紙で日露同盟論を書かしめて居た

◇氏は常に日本から露國に歸る者を引見する每に「あゝ俺も早く行つて見たいな」と云つて居たとか

◇次ぎに駐露大使の本野一郎男は安達峰一郎氏と共にわが外務省中唯二人の法學博士の一人で九州は佐賀の藩士文久二年の生れで壯時佛國里昂の大學を卒業し明治二十二年朝鮮外務省の飜譯官から現在の位置に上つた人である

◇氏は現石井外相と相對して幾度か外相の椅子に擬せられた人、日露戰爭後以來露國に使してひたすら日露の提携を畫策した人である

●裏千家茶道教授　京都裏千家

[illegible]家元にて茶道の仕込みを受け[illegible]大宗匠千宗室氏の紹介にて來京せる[illegible]氏は旭町一丁目四番地に看板を掲げて自宅稽古出稽古何れにても教授され仕業の上は京都家元から直接に許狀を受けられる事になつて居ます

●金剛山の採勝

[illegible]高等普通學校教諭[illegible]氏は同校生徒七名と共に金剛山探勝の爲め來鮮、十二日釜山上陸十四日金剛山着、十七日京城一泊の上十九日開城、仁川を視察して廿日朝出發歸校の豫定なりと

婦人界消息

△大和田りよう子（南山幼稚園主任）十一日朝南大門驛出發東京へ向はれました

△草野きぬ子（小學校教員）久しく總督府醫院に入院中のところ今回退院せられました

神社と教會とお寺

○本能寺（水標橋通）十二日午後二時八時の[illegible]

番茶のあこ

朝鮮の山が禿山であるの故を以て餘り莫迦にして貰ふまい△禿山であるが故に鑛脈の露頭が容易に發見されるぢやあないか△といふやうな一理窟をこね廻して居る處へ水原では四十萬圓儲けた銀鑛の發見者があるとの噂△然も發見者は水原警察署の小使で近所の山で石塊を拾ふやうに發見したとは何より結構△目下三井と大倉で山の權利を四十萬圓とかに釣り上げた相な

だいどころ その日その日

回鯛の子あへ 鯛の身を[illegible]皮を引き[illegible]の三枚にして[illegible]酢に三四十分もつけて[illegible]たきを[illegible]と[illegible]をみりんと酒にて一度煮立てそれより中火と火にて煮立てそれより中[illegible]して鍋に氣をつけ[illegible]して落ちぶたをして[illegible]分に醬油をさして味をつけ皿に取り出して[illegible]しながらバラ／＼に同じく前の身を醬酢より上げて鰹節の如くに切りてほぐしたる子にて和へ掩皿に盛りみりんわさびを少し上にふりかけ酢の物替りとなす

一△會いろ／＼▽一

○西本願寺（若草町）十三日より十六日まで孟蘭盆會あり說教は毎朝午前九時より。尙ほ信徒の家[illegible]て讀經[illegible]あるべし

□信徒懇談會 十三日午後五時より京城基督教信徒有志は本町五丁目にて植村正久先生歡迎の懇談會を開く會費は五十錢

□[illegible]演會 十三日午前十時より南大門通[illegible]店にて[illegible]

□[illegible]演會 鍾路小學校にては十一日午後より京城各教會聯合の大會あり植村正久先生歡迎[illegible]

□開校式 [illegible]の[illegible]に於ける京城公立[illegible]學校は十二日午前八時より開校式を[illegible]

●溺死一束 平安南道龍岡郡大[illegible]游泳中溺死す▲平安南道寧遠郡成龍[illegible]て身體自由ならず終に溺死したり▲[illegible]代面海山里[illegible]乘業金應範（三）は七月[illegible]面永浦里金致福（十五）は六月廿一日午[illegible]平安南道平原郡[illegible]山面龍浦里李厚興[illegible]

商況

東京株式特電

債券現場特電

公債直取引

深川在米特電

東京期米

大阪株式特電

大阪三品特電

大阪期米特電

下關期米特電

雜報

●牛皮依然高値

●七十八九圓乃至八十圓と依然高値を維持

●買進み出廻りの季節

●洋釘低落す

●物全部を通じ五十錢乃至一圓の値下

●二吋半以下の細釘

●燐寸は氣丈

●既に强い呼値區々裡に

●東方面弗々

●板硝子荷動不振

下關相場

京城正米

京城雜穀

南大門の廻穀

釜山市場

仁川期米

十一日前場

十四錢と漸騰四節五日の高値上廻り

十四錢高に寄付

市場零聞

前場伸び悩む

値に反し頗る伸び悩み大阪の新高

前場の手振

依然小相場

仁川米豆取引所 十一日の九月限

賣買取組高

東京株だより

仁川米豆取引所仲買人 利 仲買店

三巴仲買店

●正米界は依然强硬

●再び問題に一就

●正米高は人氣な刺戟

●何者の惡戲ぞ

●眞相の明瞭

成功致富の近道は何か

まづ株式相場をなすに限る

株の賣買は決して危險にあらず

「富强世界」社長 高柳淳之助

▲今の富豪は株に依りて致富せり

▲相場の失敗者

▲株とは如何なるものか

▲株を持つ利益此の如し

▲未亡人株の賣買を始む

▲株の賣買の利益此の如し

▲株の相場をなすとは如何

▲株の相場は下らば如何する

▲株式相場の研究

▲株式相場研究の發行

▲株式賣買の資金

▲株は何人でも出來る

▲空論にあらず實際的なり

▲余の採算的相場觀

▲如何にして成功すべきか

東京神田表神保町[illegible]

贊化病院 京城本町二丁目 電話二四一番
內科 小兒科 入院隨意
醫學博士 古城憲治
醫學士 上野亮藏

運轉手 自動車

帝國在鄉軍人會京城分會

夫小田耕介儀病氣の處養生不相叶七月十日午後三時若草町自宅に於て死去仕候間辱知諸彦に謹告候也
追て葬儀は十二日午後三時樂町西本願寺に於て執行可致候
七月十日
妻 ソノ
親戚總代 馬嶋忠四郎 中川隆一 多々見五郎
友人總代 田中歌東 楢崎陽 最所勝三郎

葬儀請負 供花御寄贈品一式 京城本町三丁目 朝鮮葬儀社

葬具一式 造花、生花、花環、寄贈品裝飾品其他供物一切御用命は本社の主旨に候間 京城永樂町二丁目 大葬社

京城葬儀社 旭町二丁目 中道原重吉 井上芳太郎

宮本武藏

第九十六回

桃川如燕口演　浪上義三郎速記

まで宮本を[illegible]へましたのは始終岸柳と行違ひに[illegible]かりなつて居て逢ふ事が出來ない、仕方がないから熊本へ行つて岸柳の道場に待つて居やう、左様すれば岸柳が歸つて來るだらうから之から熊本へ乘込んでやらうと[illegible]がへましたから旅籠屋の男を呼んで『武『肥後の熊本へ往かうと思ふから船を一艘雇ひたい』男『畏りました』[illegible]二、三[illegible]小倉にございます[illegible]

を仕立なければなりませんから先へ船賃を頂戴いたしたう存じます、『武宜し〳〵代は先へ遣はす』『有難う存じます』先生一杯上つて居ると對向ふ座敷で岸柳々々といふ聲が頻に聞ねえ、耳を澄して聞いて居ると『金兵衛さん、お前さん何處へ往くんだい』△『俺かい、俺は明日小倉へ往く』○『さうか[illegible]だ、小倉には[illegible]も[illegible]出來たかい』△『芝居じやアない』○『芝居か』△『いゝや芝居じやない』○『相撲かい』△『相撲でもない』○『人形かい』△『人形でもない』○『大から淨瑠璃の名人が來んでも下つたかい』○『イヤ淨瑠璃の太夫でもない』△『何じやい』○『肥後の熊本佐々木岸柳先生を知つて居るかい』△『知らんでかい日本一の先生じや』○『ア[illegible]

[illegible]

から小倉は主人の領分だ、大方此處迄の親類の家へ寄つて岸柳の中にでも隠れて居るか、理窟の中にても這入つて居るだらうといふんで岸柳先生が毎日御城下を大きな聲をして歩いて居る』△『へー大きな聲をして

『岸柳先生は四尺五寸もある大刀を差して鐵骨の扇を持て此の鐵扇で宮本を粉末にする刀を用ゐるのも面倒だから鐵扇で破壊して了ふ、破壊して了つて泥濘へ持つて往つて道普請に使ふ……』△『道普請に使ふ』○『大きな聲で宮本出ろ／＼』さいつて御城下を行いて居るけれども出て來ないね、お前の龍だけれども宮本といふ奴は卑怯な奴だ、大方親類の家へ飛込んで縁の下にでも隠れて居るのだらう、大きな小倉者なら仕方がない、江戸ツ子だといふんだ、江戸ツ子は五月の鯉の吹流し口ばかりでカラ意氣地はねへ、江戸ツ子の生れ損ないだ、此方等ア町人だつてそんな卑怯な眞似は為ねへで往つて一か八かの勝負をするア[illegible]

（作者曰[illegible]これはキャッ[illegible]江戸ッ子[illegible]）

[illegible]て往つて居たが[illegible]て來ねへから立つて來た、三十[illegible]ら[illegible]小倉へ[illegible]先生が出て來る、[illegible]ない『さうかい、夫はいゝ事を聞いた、是非とも小倉に五六日逗留せにやならぬ用事があるから其中には仇討が始まるだらうから』と話しをして居る、宮本先生之を聞いて喜んだの何のといつて、武藏は故主の仇君父の仇敵に就て岸柳を討果して呉れやう』と考へましたから若い男を呼んで『武『熊本へ往かうと思つたが急に小倉へ用が出來たから小倉往の船にする、熊本の方は斷つて呉れ』若『へイ畏りました、エ、お代を』武『夫は一旦遣したものだから抽者は要らん、船頭にやつて呉れ』若『有難う存じます』武『抽者は一番船へ乘りたいから』若『畏りました』武『夫から對向の座敷で話しをして居る男を鳥渡呼んで貰ひたいものだ、大分勇ましい話をして居る』若『ヘイ畏りました』ア、モシ／＼今話しをして居たすつたのは誰方だ』○『俺だ』若『今此處のお座敷に泊つて居らつしやるお武家様が話を聞きたいと仰しやつて居るから鳥渡來て下さい、御酒を御馳走すると仰しやつて待つて在つしやるから』○『さうかい、夫は有難い、小倉で十八匁散財したのを埋合せが出來る、直に往くぜ』

運勢

七月十三日九星　舊六月十四日辛亥　本命七赤西定先勝

▲七赤[illegible]▲八白[illegible]▲九紫[illegible]▲一白[illegible]▲二黑[illegible]▲三碧[illegible]▲四緑[illegible]▲五黄[illegible]▲六白[illegible]

演藝案内

大正館　電話八七三　[illegible]

御成座　電話一九一　[illegible]

浪花館　電話二[illegible]六　[illegible]

黄金館　電話一八五二（階上）二六三七（階下）　[illegible]

外科一般　皮膚科
泌尿器科　花柳病科
院長　安部修二
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院　電話二一九番

時間正確　此品無代
進星
大阪市東區東平野町一丁目[illegible]
[illegible]

りん病
消渇で困る方　多年の慢性も治癒す
自宅にて人知れず安全秘密に良藥あり只一劑を試よ切手三錢送れ其良藥と自宅療法の詳細を報す
名古屋市南かじや町　武藤亀吉

御園白粉
今の季節の外出化粧
化粧下には御園クリームを塗り其上に御園煉白粉を稍濃目にお附け遊ばせばお化粧が長く保ち吹出物を防ぐことも出來ます。
汗や塵埃で化粧が崩れた時は決して皮膚を荒らさずに顔直しの出來る御園紙白粉が一番です。
日焼けを完全に防ぐには化粧する前に高橋博士[illegible]の[illegible]をお皮膚に[illegible]限ります。
本舗　伊東胡蝶園
發賣元　丸見屋商店
(137)

お顔剃後に
剃刀まけせず素顔を生々と
美しくする上に
脈味のない隠化粧として
ホンノリと色白となる
新しい美容液
レートフード
東京　平尾賛平

京城日報　第三版
十二日朝刊（夕刊と合せて八頁）
發行所 京城日報社　京城太平通一丁目

歐洲戰局

京城日報

英佛兩軍は去月末を以て活動を開始しアラス、ソンム方面に於て前線に進出、既に敵の第一線を奪ひ、第二線に迫れり。即ち是れ世人の一般に期待せるところにして、連合軍は七月に至りて總攻擊を決行すべしといふ豫想は今や此に之を眼前に見るを得たり。

連合軍が總攻擊の準備中たりしは今春以來世間共に相傳稱する所にして、獨墺二國亦、此に備ふるの志ありたらむ、然れども獨軍は其全力をヴェルダンに集中し、墺軍は則ち伊太利攻擊に傾倒して、復た餘力を留めず。即ち是れ露軍がガリシアより進みて、墺軍を驅逐すると同時に、英佛軍亦猛然攻勢を取るに至れる次第にして、聯合軍に取りては、天時地利人和を兼ね有つものと謂はざるべからず。

近報を綜合するときは、獨軍は其聯合軍の攻擊甚だ急なるを見て、速に抗拒の計を求め、最も英軍を防遏するに力むるものゝ如し。顧ふに今日交戰者は、若隊に其兵員の調達力を盡くして、復た多くの餘力を存せず、獨り其餘力甚だ饒かなるは、英吉利あるのみ。英吉利は本來、陸軍極めて小なるも、此度の戰役に於て先づ百萬の大軍を致し、昨年來政府及び國民共に、其心力を一にして此に努め、遂に五百萬といふ兵員を備ふるに至る。其成修、教訓、日猶は淺しと雖も、其生氣にして、活氣に富める、則ち其の強味を有する所以なる時に及びて、敵國の兵員調達力全く盡くるの時に及びて、此強大なる新勢力の出現せるあり。即ち是れ、此戰役の最後の勝利者の誰たるを示す所以なり。吾人英國陸軍に就て評る毎に、故キッチナー元帥を想起せずんばあらず。英國が小陸軍國より一躍して大陸軍國となりたるは、主として元帥の功なり、其の幕僚を率ゐて、露都に赴かむとしたるは、即ち此度總攻擊に關する要務を果たす爲めなりしや論なし。然るに途中遭難、眞に是れ千秋の痛恨事たり。只元帥の大陸軍編製の功既に成り、又其後を承けて、陸軍大臣たるものは、英國政治家第一の大手腕家たるロイドジョージ氏なり。大陸軍をして大功業を全くせしむる、其れ日を指して待つべきなり。

昨今英國經濟界にては、漸りに平和問題の時期近づけることを傳ふるものあれども、未だ其の何の故たるを知らざるなり。連合軍は昨年九月より、十一月に亙りて、一般的攻擊を持續したれども、遂に其功を奏せずして已み、今日に及びて再擧を企つ、獨墺軍を驅除して、其形勢を定むるには、前途猶ほ悠久なり、特に英佛露諸國民、皆獨逸を粉碎して復た起つべからざらしむるにあらざれば、戰を止めずと稱す。此氣勢より推すときは、今日は未だ平和囘復を說くべきの時にあらざるなり。

城壁文學

小田省吾

（第五）世宗期都城修築

（三）都城修築の實行（承前）

此の表はつまらぬ樣であるが、是れで以て太祖朝に於て何處の邊に石城が多く、何處の邊に土城が多かつたかを參考すべき大切な材料となる。今日の工事は上記石城並に土城の修繕と、東大門方面に太祖の時造つた西大門の大修繕であつたのである。（此の事は次項に詳説する）備邊司の外に城の內外に幅十五尺の道を開いて都城巡邏に便にした。斯くて出來上つた城壁の高さは、險地十六尺、次地二十尺、平地二十三尺と記されてある。

此處で一つ疑問となるのは、本項の最初に記した如く今回修築した土城は太祖朝土城全部の約六割であつて、是れは悉く石築に改めたのであるが、其の殘の約四割は土城の儘であつたのである。世宗以後の修築は遙かに後世の肅宗の時であるから、其れまで一百八十餘年の間存在して、其の時全部石城となつたであらうか。城壁の石材、石組の手法並に城壁文字等より見れば、世宗期と肅宗期との中間に屬する種類は現に城壁文字を研究したら意外の材料を發見するやも知れざれど、現在まで余は文獻にも城壁文字にも此の問題を解決すべき好史料を見出し得ぬのである。

備此の工事竣成の豫定期間は起工の日より四十日以內であつて、各道の役丁は夫々受持の工事を竣れば假令四十日に充たずとも歸還することを許されたのである。由て實際は各道の競爭の姿となり、或る道は割當人員よりも多數の軍丁を徵發し來つて工事を急いだ如き弊も生じたが、起工より十八日目の二月廿三日には此の大役を畢ることが出來た。此の間には役を嫌つて逃れ逃る者もあり、其の他種々の出來事があつたが、該役中に修築都監の提調一人死亡し、各道軍人の死せし者總計八百七十二名の多きに及んだ。此の外往返の途中に死亡した者を算すれば千名以上もある。何分多數の人間を集めて短日時にやる大工事であるから、恰も戰爭と異ならぬ狀態であつた事が想像される次第である。或る時世宗王は軍人の物故せしもの甚だ多いのを憾ひて之を臣下に問うたが、工曹參判李蔵なるものの對へて、數十人の提調中一人の死亡者ある位なれば、三十餘萬の軍丁中五六百人の物故は怪しむに足らぬといつた。隨分暢氣な意氣込でやつたものと見ゆる。（此項完）

滿洲便り

大連支局發

△宗社黨運動　滿洲の帝黨は袁氏沒後形勢の變と共に擧旗の運動を中止し昨今蠢動せるは無賴無職の徒が名を帝黨に藉りて金錢を強要するに過ぎざるが宗社黨は相變らず運動を繼續し蒙古の一部王公とも結託して北滿方面に何事か計畫を廻らし居るものゝ如く現に吉長鐵道沿線地方には頭目多數の宗社黨入込み胡匪又は土賊と勾結して近く省城に迫るべき模樣ありとの報あり之が爲め孟吉林將軍は吉長鎮守使に出兵を命じ諸方面に亙り嚴重警戒をなし居れり去れど宗社黨の勢力は依然微々たるものにて在滿支那人の多くも之を見るに今日の場合如何に悶くも宗社黨は到底大事を爲すに足らずと稱し頗る冷淡に見られつゝあり

△在滿鮮人の保護　在滿朝鮮人の保護及び誘掖は滿洲開發上亦決して等閑に附すべからざる事なるが機關の不備其他の爲め今猶ほ充分ならざるの憾あり奉天省のみにても居住鮮人の數約十萬に達せるに彼等の多數は相變らず支那官民より凌辱され種々の名目の下に徵稅を強ゆられ居住營業の自由は却つて從前より不便となり居るもの多く……

△滿鐵の製鐵業　日支合辦に依る鞍山站鐵鑛採掘と共に滿鐵にては本年より製鐵所設立に著手すべきも鐵材拂底の今日機械類の注文容易ならざれば其の設備が平常に比し多少遲れ勝となるは免るべからざる結果ならん製鐵事業は滿鐵直屬の事業にして先づ小規模のものとなし漸次擴張の方針を執るべく而して其の場所は水利と鑛物運搬に便なる地を選ばざる可らずして目下之の位置の選定中なりと云へば近く決定すべく大體の準備は整ひ居るが如し

露西亞の住民（三）

伯野生

言語

前述の如く、露西亞の國土には、大小幾多の種族が割據散在して居るので、其用語にも亦多少の相違があるを免れず、高加索の首府チフリス市に於ては、四十種の異つた言語を聞く事が出來ると云ふ事である。事實現今に於ては、大露西亞人と、小露西亞人との間にさへ、幾多相違の言語が出來て居る位であるからして、勃牙利語、塞爾比亞語、波蘭語等同じスラヴ語系に屬するものでも、各其用語を以て直接其意を通ずるのは、蓋し容易の事ではないのである。併し乍ら一般國語として、又標準語として洽く全國の官場、學校等に於て、日常使用せられてゐるのは、勿論所謂露西亞語なのである。其故に此露西亞語をさへ習得すれば、露國研究の關鍵を把握する事が出來るのであるが、英、佛、獨語等に比較すれば餘程學習に困難なので一度思ひ立ち乍ら中途廢學する者の多いのは、吾人の常に遺憾とする所なのである。而して外國語の中で、從來露國に於て最も多く使用せられて來たのは、獨逸語と佛蘭西語とであつた、佛語は專ら上流社會に、獨語は中流以上の人士間、並に大商店に於ては、大抵通用したのであるが、目下の所之を使用すれば、五百留とかの罰金に處せらるゝと云ふ事である。併し乍ら獨逸語を露國から驅逐するのは殆ど不可能事であるからして戰後は必ず復活するであらうと思ふ、現に[illegible]方面に於ては、殆ど不通なる[illegible]一事を記憶して置く必要があるのである。

宗教

次に露西亞帝國の住民を宗教上から觀察すると、之に二大別することが出來る、即ち基督教徒と、非基督教徒とである。而して前者の中には希臘正教徒、羅馬舊教徒、新教徒、アルメニア教徒等があり、後者の方に屬するのは、回教徒、猶太教徒及び佛教徒なのであるが、今尚ほ野蠻なる異端の外に、露西亞の國教は、希臘正教であつて、總人口の七割は、之に歸依してゐるのである。斯の如く希臘正教は、露西亞に於ては、頗る偉大なる勢力を有して居るので、ツアーリも特に神聖なる宗務院を設けて、之が管理の任に當らしめ、ペトログラード、モスクワ、キーフの三大都市には、府主教を配置し、更に全國を六十四個の宗教管區に分ち、主教をして各其長の職に就かしめ、寒村僻地にも、大抵教會堂を建設して、司祭、助祭の類を置くのである。而して修道院で苦行した黑僧と、普通一般の教區で司祭には妻帶しない戒律の下に、僧侶たる白僧との二種あり、黑僧でなければ、主教以上の高職に就く事が出來ないのである。併し乍ら同じく僧侶でも、宗務者の官吏たる事は同一であつて、俸給は勿論、事功に依つては、勳章も貰へるので、彼等は何時か官僚の走狗と化して了つて、議會に入つても右席を占め、政府の御用を勤めて、能事畢矣としてゐるのである。クレリカリズムも思ひ半ばに過ぐるものがあるではないか。

螢

（五の日十日の句會）

○白々と闇螢照り初めぬ　鳥堂
○草と握りし螢石に明けぬ　坡柳
○徐日白々の鐵舍照る螢　句平
○私園に放てる螢遠見淋し　日池
○螢暗に御陵道の草香立ちぬ　虎耳

日報俳壇

雅子郎選

夕立晴て賣甜野菜を賣歩く　潮外星
醬油造る暇を沸きり[illegible]　同
鬧の花や壁落ちし藏を[illegible]　同
藥柳や親子して行く[illegible]　同
庭茂り殖に行く父[illegible]　同

▲一變強硬

[illegible]

▲現物界

[illegible]

十一日の九月限

最新刊

痴遊 伊藤仁太郎新著

隱れたる事實 明治裏面史

最も大膽に露骨に晒け出されたる

大西郷、大久保、木戸、江藤、井上、伊藤、山縣、大隈…… 明治年間は維新以來……

發賣 京城 大阪屋號　東京 星文館

中元暑中御贈答品は贈つて體裁好く貰つて嬉しい明治屋の品をお撰に限る

□キリンビール　牛打、壹打、貳打、化粧函詰
□清涼飲料水　ダイヤモンド印　△サイダー　△シトロン　△レモン　△レモネード
□洋酒　△洋食料品　△洋菓子　△食器類
□御贈答用商品手切

一、弊店發行の商品切手は左記の本支店出張所共通に御座候間遠隔の各地へ御呈送にも最も御便利に御座候

キリンビール其他營業品は何品にても調進可仕候金額を現し御進物の分は如何程にても御用命に應じ可申候

橫濱　東京　京都　大阪　神戶　門司　名古屋　金澤

宮內省御用達

京城本町二丁目 明治屋京城支店

電話二二二番一七二二番

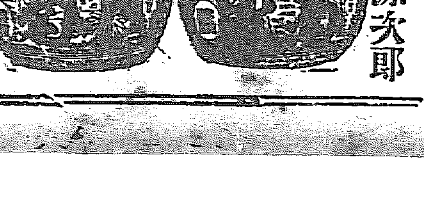
御進物の撰擇に御腐心も無く先方も御便利なものは弊店の商品切手

新刊書御案內

書名	著者	定價
書畫鑑定法 全二冊	[illegible]	一〇〇
漢字典	[illegible]	一五〇
科學の價値	田邊元譯	一三〇
一日一訓	酒川忠直	七〇
簡易生活法	西村文則	八〇
國民道德要領	吉田靜致	一五〇
參禪實話	同体庵主人	一二〇
エレン・ケイ 兒童の世紀	原田實譯	一二五
[illegible]の術（へ）方	[illegible]	八〇
四十年の明治裏面史	伊藤痴遊	一五〇
印度の古美術	[illegible]	一二五
江田島生活	海の中尉	一二〇
日本アルプス登山案內	[illegible]	一〇〇
世界商業百談	石井研堂	八〇
タゴール傑作全集	[illegible]	一〇〇
聖タゴール	[illegible]	一六〇
[illegible]と[illegible]	[illegible]	一五〇
百萬弗の秘密	[illegible]	一二〇
高杉晋作	橫山健作	一三〇
神[illegible]	[illegible]	五〇
古錢の話	[illegible]	五〇

大阪屋號書店

醇良清酒



大阪府堺市 醸造發賣元 肥塚源次郎
特約販賣店 京城本町二丁目 佐藤牧太郎
同 本町三丁目 明治屋支店

◎首相挂冠説否認

大隈首相挂冠説は內閣の現勢に直に實現す可きに非ずと江木翰長は首相の辭任は實現するものあり、ちに之れが實現を希望し居れば首相は山縣元帥も亦た此際大隈首相の辭職せば時局をして却て紛糾せしむるの虞ありとし現內閣の居据りを希望し居れば首相の挂冠説を正式に否認せり(東京電報)

◎廣東討伐の眞意

南軍廣東討伐の眞意は間接に北京政府と同一の地位に陷れんとするにあるものゝ如く北京政府も亦之に應じ同一の傾向なり(東京電報)

◎唐孫兩氏の決心を促す

使者の返電に依り內閣を改造す

段國務總理は八月上旬に至る唐、孫兩氏の最後の決心を促す爲め二名の部下を派遣せるが右使者の返電に依り愈々內閣改造を決定すべし(北京特電)

◎長沙擾亂と抗議

長沙に擾亂起り邦人暴徒の爲めに掠奪を恣にされ我が領事館より目下嚴重に抗議を提起中なりとの報あり(東京電報)

◎猛烈なるソンムの戰闘

紐育米國聯合通信員の所報に據ればソンムの戰闘は猛烈を極め聯合軍の砲火に依り殆んど破壞不可能と目されし堅牢なる防禦陣地が形容の言葉なき迄に破壞されし事を述べ且曰く英佛軍は我等に二、三の新らしき或るものを示したり非は即ち飛行機より投ずる火彈に依りて輕氣球を破壞し又は未曾有の大口徑爆彈の無數に投下せらるゝこと是なりと(倫敦電報)

◎獨軍の抵抗力漸衰

獨軍の抵抗力は漸次衰退しつゝありヴエルダン戰線よりの報道は少なく唯砲兵隊の猛烈なる行動を報ずるのみ(巴里電報)

◎敵軍算を亂して退却

露都來電八日附公報に曰くストックホッドの下方に於ける露軍の攻勢は猶繼續し敵をして潰走せしめたりバラノウイツチの周圍に於て猛烈なる戰闘行はれ敵は必死となりて抵抗しつゝあり(倫敦電報)

◎陣地占領

巴里來電八日發表の公報に曰く佛軍はフラウクール東方に於ける四基米突の戰線に於て攻擊を行ひ全線に亘り二基米突の深さを以て獨軍の陣地を占領せり尚佛軍はピアンユの村落を奪ひ同處よりバーローの郊外に達する地に陣地を建設せり(倫敦電報)

◎獨潜航艇と英佛大使

華盛頓來電に曰く英佛兩國大使は米國に對し獨逸潜航艇ドイツチランドの性質を確むべき事及び之を確むるに就き專門家を參加せしむべき事を提議せり(紐育電報)

◎佛國々防問題可決

佛國上院は國防問題に關する討論を終結せしめ二百五十一票に對し六票の大多數にて政府信任案を可決せり(倫敦電報)

◎英國軍需大臣

其他任命發表さる

英國公報に曰くエドウイン、モンタギウ氏は軍需大臣に、マツキノンウツド氏はランカスター公領事務長官兼大藏次官にエーケジエー、テナント氏は蘇格蘭事務長官にカーゾン卿は戰時會議の常設委員に任命發表されたり(東京特電)

◎海軍豫算回附

海軍省來年度豫算概算書及び來年度より計上さるゝ海軍補充費豫算は十一日大藏省へ回附せり因に補充費は十二年度迄に亘りて計上さるべき八四艦隊に屬するものにて其の內容は秘密に附せられつゝあるも總額約二億五千萬圓にして來年度年額は約四千五百萬圓位なりと(東京特電)

◎上旬對外貿易

大藏省の調査に係る七月上旬の對外貿易は輸出二千四百卅七萬五千圓輸入一千七百四十三萬一千圓にして結局六百九十四萬四千圓の出超を示したり右輸出に於て生絲、細絲羽二重、燐寸等は前旬に比し二割一分を減少し輸入は棉花の增入に拘はらず羊毛、油槽、鐵、機械類の減退に依り二割一分を減少せり猶一月以降出超累計は九千五百九十萬八千圓なり(東京特電)

◎林公使赴任期

新任駐支公使林權助男は本月末を以て北京に赴任す可し(東京電報)

◎運賃問題大會

三線聯絡運賃問題に就き十日夜實業俱樂部に大連市民大會準備會を開き石本鏆太郎座長となりて審議講究の上絶迄反對運動を爲すに決す市民大會は近く開催さるべし市民の意氣益々昂り來る(大連特電)

◎陸軍准士官

陸軍准士官中少尉同等階級に進めらるゝに至る可し(東京電報)

◎上田博士逝去別報

京都帝國大學教授文學博士上田敏氏は永らく萎縮腎に罹り東京市芝區白銀三光町の自邸に於て加療中なりしが十日午前終に逝去せり享年四十三歲(東京特電)

◎五月對露貿易

日露協會の調査に係る五月中の對露貿易重要輸出入品價は輸出一千三百四十萬二千八百五十七圓輸入卅三萬四千九百五十七圓にして一月以降の累計は出五千百十萬餘圓入千三百七十九萬圓なるが五月中の輸入重要品及び價格を擧ぐれば左の如し

▲輸出

食料品	二五八、七七六圓
雜貨	六一八、〇四三
撚紗	一〇〇、一八九
綿絲	七八三、四二九
生品	八九〇、五七八
麗品	一、一一七、三四三
鞋	三七四、二四八
皮	二、九三四、九三〇
安知母尼	七三三、四〇六
茶毯鐵器	二七六、一七四
其他金屬	七七三、四九四
小包	一、四〇八、九五九

▲輸入

豆粕	一八五、九三九
豆類	二六九、三四六
雜品	一九、六二四
小包	三三三、七四八

◎滿洲發著貨物

五月中の成績(續)

二、局線發南滿東淸線著貨物

南滿線著數量は五千七百九十九噸東淸線著數量は二百八十一噸計六千八十噸にして前年同月に比較すること十噸の激增を示せり南滿線著數量四千七百七十四噸を算せり南滿線著貨物の主なるものは米にして前月より出荷を始めたる新義州發本溪湖行鐵鑛石は本月に於ても盛運旺盛にして三千二百十七噸を算せり其他木材に在りても前年に比較し好況を示し米と共に一千噸內外の出荷ありたり又東淸線著貨物は全部米にして三月以來の活況なしと雖も是亦前年に比較し著しき增加を示せり

	本月分 南滿東淸線著 噸	計 噸	前年同月分 南滿東淸線著 噸	計 噸	前年同月との增減
米	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
雜穀	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
材料	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
紙類	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
木材	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐵石	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

三、南滿東淸線發院線著貨物は昨今兩年共皆無なりしが南滿線發數量は九千四百九十一噸にして前年同月の九倍強に當り八千四百七十三噸の大激增を示せり右は前月來奉天以北及安東より主として九州地方に輸送する豆粕著しく增加せるが故にして本月の如きは其數量八千八百九十噸を算し之が爲め一時關釜連絡船の輸送力に不足を來し臨時傭船に依り積取を爲すの盛況を呈せり其の他小豆は前年に比較し減退せりと雖も大豆は産地安の結果相應の增加ありたり

	本月分 南滿線發 噸	計 噸	前年同月分 南滿線發 噸	計 噸	前年同月との增減
大豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
粟	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
雜穀	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
木材	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
煉瓦	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
石炭	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
コークス	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
豆粕	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐵石	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

要之本月に於ける滿洲發著貨物の局用石炭を除きたる營業貨物總數量を前年に對比するときは殆ど倍加の活況を示せり而して增加の著しきものは南滿洲發院線著貨物及び局線發南滿線著貨物にして殊に後者は漸々たりし前者の數量は近時豆粕の激增に依り非常なる盛況を呈せる之が院線發南滿線著貨物は殆ど閑散なる輸送狀態に終始し此の活勢を見ずして本月の如きも銀低調に入り僅に輸勢を挽回し前年より漸く減少を免がれたるの狀態に終れり(完)

四、南滿東淸線發局線著貨物は前年と同樣出荷なく南滿線發數量一萬二千九百二十七噸にして前年同月に比較し一千三百五十八噸の增加を示せり鮮米代用として滿洲粟は本年全く之が輸入なかりしも石炭の輸送一萬噸以上に達し木材又一千噸を超ゆ何れも前年に比較し增加を示し之に亞ぐ鐵鑛石豆粕及び小豆も三百五十噸乃至三百九十噸の輸送ありたる爲め如上の增加を示せるものとす

◎仁川精米不振

近來仁川に於ける精米業は依然沈靜狀態に在りて何等活氣を呈し來らず前月に比すれば幾分活氣を呈したるも前月の中に越月せし事情に起因するや明にして持越米は在庫少く僅に挨々し進まず適は在庫少量の準備米の爲に供する傾向あるも我々の理期に供するは殆んど在荷數に維持し居るが如き現狀を來さざる限りは精米の全部を占むる状態を脱する事は難きの如く推測さる(以下略)

◎鑛業登錄税

六月中に於ける鑛業登錄は受付三百二件の內不受理百十一件受理百九十一件にして此税額一萬四千七圓を算せり而して總鑛業登錄税額は合計二萬四千卅七圓四十六錢となれり四月以降六月末までの登錄税額は合

◎關税收入增加

六月の朝鮮關税收入は輸移出入合計三十五萬五千六百七十二圓にして一月以降の累計二百卅五萬九百五十一圓に上り之れを前年同期に比すれば三十萬一千五百二十八圓の增加を示せり又六月中の朝鮮各港出入船舶は汽船二十四萬四千六百六十五噸帆船一萬五千六十噸合計二十五萬九千七百廿五噸なりと

◎水害と東拓移民

南鮮方面の出水の爲め各地に土著せる東拓移民の水害に就ては會社にて目下取調べ中なるが慶北に於て收穫皆無に歸せるもの二戸其他被害者あり全北方面は浸水の害を受けしもの百戸に餘り居れるも何れも會社の指導に從ひ復舊方法をとりつゝありと

◎忠淸方面の作柄

漢湖農銀の調査に依れば忠北、淸州、忠州、鳥致院方面に於ける稻作の狀況は降雨多き爲め作付反別は著しく增加し然も植付後の發育良好なるを以て結局平年作以上に達すべし唯青大豆は多雨の爲め作況不良の由

◎井邑綿花良好

同郡綿花は總督府獎勵作物とせられ居れるが昨年植付反別六百七十六町にて實收一萬九千斤を得たり本年も植付反別增加し居れるを以て實收に於て增加すべき見込みなり又學棉は昨年植付反別四百三十七町實收二萬六千三百六十貫此價格七萬九千八圓なり是

◎仁川石油近況

仁川に於ける輸入品たる石油界は依然強硬にして米國よりの輸入品たる松印の如き船税の高値と保險料の高率とは該相場を益々堅くし目下四圓六十錢の高値を唱へられるが如き現狀にして商人間相互の商取引は一部旺んに行はれつゝ有るも地方の需用頗る減じ燈料其他農家に用ゆる向も可成買控への姿を取れり夏向の石油賣行は寂寥たるものにして殊に曉し代用品によりて不便を忍び居れり隨つて之等を得意とせる支那商人に於ては買進ます今の處前途を頗る悲觀されつゝあるもの如く而して此原因たる歐洲戰亂の停止せざる限り先高見越の由なく尙此後戰亂の存續するあらば又々相場の昂騰は免れざるべき見込なり

◎慶州地方産業狀況

本年の麥作は一時成績良好なりと豫想されたるも愈々昨月中旬より刈込みに著手したるが其後連日の降雨にて作業を妨げられ是が調製に從事する事能はず刈取麥は數日間屋外に重積せられたる結果發芽或は腐敗したるもの尠なからず其品質に於ても劣等となり收穫亦平年作より一割以上の減收を來たす見込みなり水稻植付は已に九分通り終了せり本年は雨量頗る多かりし爲め植付面積又擴張せられ今後天候順當に回復だにせば昨年よりも增收を見るに至る可し

◎島根縣人會

在京城島根縣人會にては嘗て同縣知事たりし松永道長官の轉任並に前濱名高等女學校長渡邊氏の入京を歡迎す可く十五日午後六時より京城ホテルに同縣人會例會を開催することゝなれり

◎仁川客主團總會

仁川客主團合所本年度上半期總會は去る十日午前十時より同所階上大廣間にて開會出席會員數三十二名にして定刻に至るや崔所長開會の辭を述べ引續き一期間に於ける同所經營決算報告をなし後一同にて今下半期に於ける種々の協議雜談に移り正午過ぎより食堂を開き午後二時解散せり

◎博物館觀覽者

京城博物館の觀覽者は六月中に於ける總督府博物館觀覽者は內地人六百七十二人朝鮮人三千四百十八人外國人三十四人計四千百二十四人に上り前月に比し(以下略)

◎伊藤檢事正送別會

京城地方法院檢事正伊藤氏の榮轉に付き十日午後六時より大同館に於て伊藤檢事正送別會を開催したるが非常の盛會にて劈頭藤法院長は主催者を代表して開會の辭を述べ伊藤氏之に對する挨拶を爲し主客歡を盡して十時過散會したるが會する者百餘名非常の盛會なりき

人事消息

▲領事吉田(?) 十二日午後七時三十分入京 ▲京の伊東(?) 同上 ▲小林靜男氏(朝鮮興業專務) 入京中の處十一日夜退京

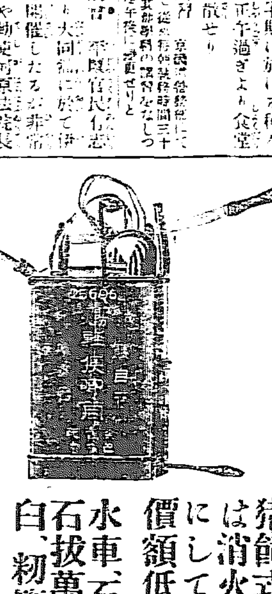
南言北語

▲北京政府が大分騷いで居る▲危ない綱渡りを仕て見たり角合戰したりした所で何うせ今度もウンとやらせて置いたが龍濟光も今度こそ彼如何に權謀に富んでも李烈鈞や岑春煊に媚られずなんて今度は駄目だ其れより獨立なんて危い▲オット待つた何と云つても廣東は李烈鈞等に取つて最も必要な處だから彼等は何うしても廣東は乘つ取るのだらう▲北京政府の方では對南軍策が一層難しくなる譯だ▲張動が怒つても馮國璋が怒鳴つても本等は何處を風が吹くかと知らぬ顏は當然▲其の內喰ひ物になつて居る宗社黨連もムクノ\頭を持ち上げて來るのだらう▲蒙古の巴布札布と云へば鳥渡カランザ式のある處は面白い男だ▲實際手にをへぬしろものでさんとして居る▲巴布札布も逃南を脅かす政府の討伐軍などは此處迄お出アメをやろてな事で何時も馬鹿にされて居る▲が其辮邦々強い時機があつたら北京へも侵入しやうとして居るから捨てゝは置けぬ▲一體支那は何時が來たら平穩になるのだ▲一層の事ジャン拳でもやつて決るが可からう

◎正誤 十一日夕刊一面揭載の輸移出品税格中の牛皮は左の如く訂正す『至本上百斤六〇圓〇〇至同四九圓〇〇改其上六二圓〇〇迄同五〇圓〇〇』

日韓書房 新版報告
白鳥著 入江のほとり 定價九十五錢 送料八錢
村田水産翁著 老人より青年へ 定價一圓 送料十錢
篠崎彥三郎著 アタム以前 定價八十錢 送料十錢
熊田葦城著 日本史蹟 赤穗義士 特價一圓三十錢 送料十錢
教育學術研究會編 聖タゴール 定價六十錢 送料八錢
京城本町二丁目 振替貯金口座京城一九五番 電話一二三〇番

中元暑中御進物用 サッポロビール アサヒビール 淸涼飲料 シトロン 化粧箱調進仕候 切手 一打毎に景品券一枚進呈


京城南大門外 朝鮮勸農株式會社販賣所 電話長四〇三番 振替口座京城三七八番
猪飼式輕便噴筒は消火消毒兼用にして品質堅牢價額低廉なり
水車、石拔唐箕、石拔萬石、籾摺、白、籾篩
其他各種農具廉價販賣仕候 營業案內御申越次第送可致候

選算專攻 佐々木政吉先生新著
手數のいらぬ新らしき 珠算の秘訣
(四版) 本書は從來の計算に要せし時間の十分の一を以て簡便正確に加減乘除檢算法を科計迄總ての珠算問題に對する答に應ずる如く容へ得る秘訣なり 佐々木政吉著 顧問高等法院(?)
定價金五十錢 送料金四錢
東京市日本橋區本町三丁目 大阪屋號 振替東京一一八六
京城本町二丁目 大阪屋號 振替京城二〇八

…にして平均一日の入場人員は百六十五［人］…八にして六月は五月より千六百四十九人の入場者を減じたり是れ農繁期…［千］六百六十六人降車人員は二萬三千五百三十三人手荷物發送斤量二萬八千六百九十三斤同到着斤量十一萬…

●縊死　愛媛縣松山市生れ當時釜山凡一洞［illegible］榮次郎内縁の妻白石みち（二十…）…なり其の筋へ屆け出でたるが原因はみちよは極く小心者にて昨今の降雨續きに農作物の被害を苦にし兩三日…

●…數箇所に押し入りて強盜を働きたる安州郡立石面新里金永浩…同洪泰榮（三…）の兩名は…業中七月三日は休業日なるにも拘らず午前九時頃…を…明治…

●乘逃げ…郡仁堀村當時龍山榮町居藤原弘（三…）は前科二犯あり六月十六日午前十一時…

●濁流に流さる　全北鎮安郡龍潭面…月溪里居住…は去る二十三日大洪水…

戰時の英國（2）

立派で綺麗な軍人

歸朝せる高木信威氏談

戰爭が始まつてから英國では各階級共に軍人の持てる事大變なもので何處の國でも戰時に軍人の持て囃される事は普通であるが英國のそれは聊か行方が異ふやうである何にしろ兵士の給與が非常に良いのと一箇月位代り番こに

▲戰場から休養に　歸つて來る、其等の兵士が殆ど放埒に休暇を過すので芝居だの商店だの公園だのと云ふ處は到る處カーキー色の軍服と派手に着飾つた女とが三々伍々込み合つて居る、從來英國の女は非常に自由であるがそれでも戰爭前までは娘一人を夜の十二時過ぎまで手放しに遊び歩かせて置くやうな事は無かつたが開戰以來若い男が多く出征して自然と女の方では

▲結婚期の遲延と　云ふ事が親達を恐慌せしめ結婚の機會を多く造る爲めに取締りの手も自然に緩んだのであらう隨分夜更けまで娘達が往來して居る而し感心な事には英國の女だけによく自己を解し又男を解して居つて忌はしい行ひなどは全く無いやうである英國の軍人は物凄いの裝ひを凝した治承壽永の平家の若武者の如うである彼等の服裝などを見ると實に立派なものである、こんな上等の服や高價なラクダ毛の外套や磨き立てた柔な靴や奇麗な帽子を被つて

▲塹壕の中に起伏　したり野原の中で戰爭をしたら一日で汚れて終うだらうと思はれる兎に角英國の軍人は皆な派手である綺麗であるカーキー色の鼻眼鏡なども頗る流行して居る彼等の買物などを見ると一少尉が卷煙草入一個に六十圓位出して居るのは珍らしくない出征軍人は兵士に至るまで大きな私用の雜嚢の中に化粧品化粧道具其他の贅澤品煙草などをドッサリ持つて行く

▲元來英國の軍人　は戰死するなどと云ふ事は頭から考へて居らぬ多數の出征軍人を見送つたが國家の爲めに死んで下さいなど、云ふ言葉を餞けとした者は曾て見た事も聞いた事もない皆な『早く歸つて來て下さい』と云ふばかりである出征する本人も野球マッチにでも出て行く選手位の考へで居るらしい、否、夫れよりも一層職業的であるかも知れぬ

▲別れを惜しんで　泣いて居る人達も之れが今生の別れと思つて泣いて居るのでなく暫しの別れにも催すたゞの涙である、兎に角英國軍人の出征の覺悟は戰場へ出たら身命を大切に而して祖國の爲めに充分に働いて敵を破り全勝を獲やう、名譽の月桂冠を克ち得やうと云ふのに外ならぬ（終）

●天鬼等の計畫

十二日大連に向ふ

馬賊の頭目天鬼事薄益三、早崎白龍及び加藤某三名は十一日下關濱吉旅館に落合ひ十二日門司發商船亞丙丸にて大連に向ふ筈なるが其の談に曰く余等同志は去る三月驪岡監獄出獄以來東京に在り今後の活動に就て計畫中なりしが各地よりの志願者三百名に達したれば其の中より三十名を選抜せり今後支那は到底平和を期し難く必ずや麻の如く亂れ結局我が力を借るに至るべし余等は其の間に處して或る事を爲さんとす今後の計畫は大連到著後協議決定の上なる筈なり（門司特電）

●下村控訴す

檢事田中肥田を控訴

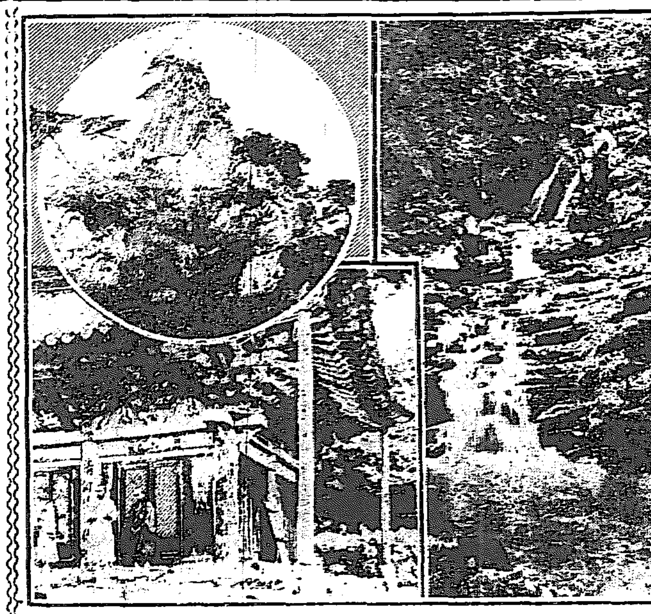
十日無罪の宣告を受けたる爆彈事件關係者田中弘之肥田琢司に對し小原檢事は直ちに控訴せり又無期懲役を言ひ渡されたる下村馬太郎は之に服せず辯護士より十一日控訴せり（小倉特電）

●高田丸の審判

地洋丸事件と共に海運界の問題となり居りし高田丸沈沒事件の第一回公判は來る二十日東京地方海員審判所に於て行はるゝ筈なり同船は去二月一日夜北海に於て英國船シルバアシエル號と衝突して沈沒したるものなるが當時非常なる濃霧と波浪高き夜なりしかば船長英人モーゼス氏も今施す可き術なかりしと云ふ併し果して船長が高田丸を遺棄したるは止むを得ざりしか又は其責任を盡して萬不行屆きの點無かりしやに就いて審判する筈なりと（東京）

●裁判所で毆る

李于衡の二男副參事李之貞並に其實子李圭三の兩名より京城蛤洞李夏榮子爵を相手取り夫婦同居確認請求訴訟を京城地方法院民事部に提起し六月十九日被兩告間に口頭辯論あり當日證人として出廷したる抱川郡加山面防築里李圭興が申立てたる證言が李夏榮氏に甚だ不利なるを法廷にて傍聽しゐたる李于衡の二男李圭復（二三）並に同宿人の李容範（二一）兩名は大に憤り午後五時頃李圭興が法廷を立ち出づるや廷外の空地にて呼び止め飛び掛りたる上拳骨にて顏面に輕傷胸部に休業數日を要する打撲傷を負はせたる爲め兩名共各罰金二十圓の處分となる



□内藏山　（右）璟芳水の清流　（左下）碧蓮庵極樂寶殿　（左上）巨巖

□涼味（二）

◆内藏山の仙境◆

全羅南道の山水美は内藏山に極まるといはれる、深潭、奇岩、瀑布、溪流、叢林それ〴〵に背景に富むだ内藏寺の伽藍、僧房、石塔などはさながら仙境の思ひがある。

◇大田から全南線に乘換へて井邑驛に下車すると遙か東北の空に例の［illegible］の山を望む、それが内藏山である。

◇井邑からは馬車もあれば人力車もある、…まで三里…は…川の清流に沿ふ平坦な路に指て、此から溪流に沿ふて登ること二里、老杉蒼翠として…碧蓮庵に着く、探勝の客は此庵に一夜の宿を借るべし

◇山頂は幾多の峰巒に分れ、山中見るべきもの月明庵、大拙殿、靜香庵、碧蓮庵、飛龍門、金剛瀑布、百寂庵、璟芳水、佛開庵、龍藏、登龍池。

◇山中の宿料は一定して居らぬが僧侶に宿つて二三十錢を出せば十分である、僧侶の…に馴れぬ人は酒精と毛布を携帶すべし。

●雷に打たれて

鮮人二名震死を遂ぐ

慶北醴泉地方は去る四日午後四時頃より雷鳴と共に驟しき降雨ありしが同五時頃醴泉を距る約二里の虎鳴面…山洞趙成仁方の米搗場に近き河邊に落雷あり折柄米搗場に居合せたる趙の妻朴仁泉（二一）及同所…の妻三女（一二）の兩名は震死を遂げたり

●總督府の大施餓鬼

▼古墳整理に關して

總督府にては從來史學研究の必要上關野博士等指揮の下に一部古墳の發掘を爲し來りしが今回一般的に朝鮮文明に資し古墳の整理を爲す事と爲り今後三四年に渉り各方面に於て實行せらるべし右に就き總督府にては此等古墳に埋葬せられある無緣者の供養を爲すべく盂蘭盆を機とし十一日午後四時より兒玉總務局長施主と爲り若草町曹洞宗本山別院に於て大施餓鬼法會を擧行せり當日は鄭重なる供物を爲し高田老師始め多數僧侶の讀經あり總督府よりは兒玉持地兩局長始め會計課長總務、各課長後見判事其他關係委員職員等數十名參列燒香せり

●最初の官選辯護士

京城社稷洞居住福岡市生れ民津田長三郎より其長女たる京城南米倉町山本富三方同居津田ゑいを被告として法定の推定家督相續人たることを廢除すと判決ありたしとの訴訟を京城地方法院に提起したる件に付き同院合議部にては審議の上被告に代理人を附するの必要を認め辯護士皆川廣濟氏を被告訴訟代理人に選任命じたり京城にては辯護士に公務として訴訟を爲さしむるは本件が最初なりと

●刑事と詐稱す

三重縣安濃津市生れ京城積善洞無職業伊藤卯吉（二七）は黃金町二丁目飲食店梅津伊三郎が窃行罪にて去一月二日本町警察署に引致せられ同九日放還せられたることを聞知し本町署の刑事巡査と詐稱して九日夜同人方に至り署長の命令なりとて同人の素行を調査し且つ無錢飲食を爲したる事件は京城地方法院にて拘留十五日の判決

□二十六萬圓の煙

◎京城をはじめ朝鮮内主要の十四市場で賣つた製造煙草は四月分の調べで、日付紙卷煙草四千八百十九萬三千八十本、刻煙草二千三百十六萬… 除けた普通の刻煙草…貫八匁で此の總小賣價格が二十六萬七千六十六圓となる

◎其以前で之れを前月に較べると兩切紙卷煙草は五分二厘方減じて居るが刻煙草は三割五分、口付紙卷煙草は四割九厘といふ激增を示して居る

◎口付で卷煙草の内では何が一番よく賣れるかといふと口付では朝日、兩切ではゴールデンヘルメットださうである、其れは兎に角之れに依つて見ると一箇月には二十六萬圓の金が煙となる譯だから一箇年には十四市場丈けの煙り代が三百餘萬圓を算することになる

◎朝鮮は煙草の安いこと世界無比だといはれてゐるが斯うした勘定を見ると隨分の巨額である

大相撲と讀者と本社

京城興行中の興趣ある計畫

東京大相撲西の海、大錦一行の京城興行は大分近づいて來ました、本社は一行の景氣を添ふるため又愛讀者諸君の爲に晴天五日間の京城興行中に於て種々興味と利便を兼ねた問題を提供します先づ其の

▼紋章彫刻一升入大銀盃　を横綱大關を除いた五日間の優勝力士に贈り京城興行中の奮闘努力を賞すると同時に此れに附隨する懸賞問題

▼銀盃を取る力士は誰　を京城興行中の…愛讀者諸君に募集し的中者には…賞品を進上します

▼本紙購讀者の大割引　京城興行中本紙購讀者の方に限り…本紙刷込の割引券持參の方に限り…

▼幕内番外お好み相撲　京城興行中の番外相撲の取組を毎日出します外に諸君のために幕内人氣力士の番外お好み相撲を五人拔なども取組ませる筈です

●本浦の大相撲

二日目の勝負

本浦に於ける東京大相撲十二日二日目の勝負左の如し（木浦特電）

勝	負
常の花	一港
龍ケ崎	四海波
朝緑	近江富士
小常陸	紫雲龍
宇都宮	九州山
對馬洋	栃木山
駒泉	成瀬山
大門岩	稻葉嶽
梅川	岩木山
釋迦嶽	宮城山
源氏山	南國
西の海	大錦

▲番外お好み　源氏山　釋迦嶽

●大相撲の乘込

南鮮地方興行中なりし東京大相撲西の海、大錦の一行は十一日木浦を打上げ午後六時五分同地出發十二日午後二時二十五分南大門驛著京城に乘込む可し

◎覗き眼鏡を盜む　熊本市中坪井町生れ當時京城本町四丁目居坂口顯市事堀崎順市（二二）は前科一犯あり七月四日正午頃黃金町四丁目黃金遊園内設置の覗き眼鏡一個（十三圓）を窃取し懲役六箇月の處分となる

◎疑似赤痢發生　平壤府…町倉橋直一（十二）は八日疑似赤痢と診定せられたるが同日平壤南山町にも一名の疑似赤痢患者を出したり

◎仁川の窒扶斯は誤診　十一日の本紙夕刊に仁川府…八月…高義五（四五）が窒扶斯病に侵されたる旨記載せしも右は…醫生の誤診にて久米田仁川警察醫診斷の結果發性腸加答兒と判明したり（仁川）

讀者文藝（一等には拾錢の商品券を呈す）

◇謎『梅雨晴と掛けて』　龍山鐵道官舍四三　荒木朴念仁

○廻轉燈籠と解く、心は明くなつたり暗くなつたり（一等）

▲不完全な飛行機と解く、心は何時落ちるかわからぬ　京城　森田久吉

▲氣迷れ娘の嫁入りと解く、心は持ちがせぬ　大邱　川佐々木紅心

▲洗さぬ肌と解く、心は濕衣が乾く　忠北深川　耕一

▲下手な花見と解く、心は熱い（暑い）（厚い）　龍山　新井庄吉

▲選者と解く、心は洗濯（洗濯）に忙がしい　釜山　山本靜風

▲遊女の親切と解く、心はあてにならぬ　京城　松谷芳枝

▲山家の御馳走と解く、心は乾物が多い　京城　清生

▲氣六ケ敷い姑の機嫌と解く、心は晴れると思ふと雲る　廣州　越前守

▲夏の爛餅と解く、心は明日まで持つまい　京城　松本旭光

▲募集規程

題	締切	發表
狂歌『ラムチ』	締切十一日	發表十三日
俗謠題『鳳館』	同十二日	同十四日
川柳『題』	同十三日	同十五日
物は付『思ひ出すのは』	同十四日	同十六日
一口噺題『蚤』	同十五日	同十七日
折句	同十六日	同十八日
次回謎題『…しと掛けて』	締切十七日	發表十九日

▲用紙は端書又は同型の半紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲賞品は一週間後▲種類の異ふる毎に用紙を改むる事總て一題二句以内の事▲此規程に違ふものは没書

育兒問題（1）

京城女子高等普通學校長　太田秀穗

讀者諸君の育兒問題に對しても世間父母たる人々の間に注目を惹いて甲論乙駁を反覆すること既に十餘日、猶ほ論難尽きず係の机上には熱心なる投書の堆積を成して居るけれども、かくては解決の機會も恐らく來るまじく仍て内鮮人の母を作りつゝある太田女子高等普通學校長と成田高等女學校長の意見を叩いて一段落を告ぐる事にいたしました。―係―

◎先月下旬以來育兒問題に就し貴紙上で種々の議論があつた樣だが議論の要點は某紳士夫人が我が子の過つて途上に倒れた場合に直に之を起してやらなかつた實質に對して甲は冷酷なり、夫人たるもの非難し乙は幼兒の自立心養成の方便として然あるべきだと擁護するのである樣に思ふ

◎一體斯かる批評を試みるには單に其の皮相的の觀測推斷のみによつて云々すべき性質のものではなからうと思ふ先づ第一に其の子供の體質性質智能年齡及び場所との關係等を審かにし第二に其の母たる夫人の性質心理狀態等も明かにして上でなければ到底是非の判斷を下し得ることではなからうと思ふ

◎但し普通人情の上から言へば其の子供が倒れたといへば假令手を掛けて起こしてやらないまでも直ちに其の場に駈付けるさいふのが親として當然の情ではあるまいかと思ふ

◎去りながら其の子供が相當手も取つて居るとか身體も相當に丈夫に出來て居るとかいふ事情の下にあるか或は其の子供が特に依賴心が强いとか又は餘りに氣が弱くて僅かのことにもめそ〳〵するとかいふ癖を矯め直さうといふ母親の深い考へから出でたものとすればこれ亦別に他からとやかく言ふべきことではなからうと思ふ

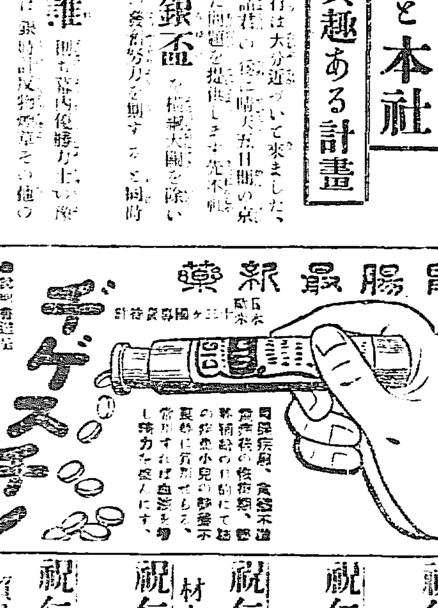
◎だが斯る親子の情合で手を掛けて起さねばならぬ際は起してやるといふことが望ましいのである。『おゝ太郎さんはえらいね獨りで起きるんですね痛んでも泣かないんですね』とか『泣く樣では鬼が居る、行けますか』とか何とか子供を勵ますことを許さぬものである。先づ母親が假令起してやりたいと思つても他に乳飲兒でも抱いて居るとか手に持物があるとか手を引いて居る子があるとかいふ場合には情は厚くても氣が利かぬさかいふ風にさう我々が座敷に坐つて居て考へて居る樣に簡單に行動は出來ないものである

◎夫婦のことを我々が自ら反省して見たならばそんなに該問題に到達して口角泡を飛ばすにも及ばぬことかと思ふ。同時に其の母たる者は他人から考へるよりも其の子に對する情が一層深いのであつて又それが自然に自ずる所が多いものであるから他人が其の母親の心情も餘り深く知らないでその場合の母親の心中まで立入つて非難するは過分のことゝ思はれるのである

◎但し今後の幼兒教養法は從來よりも今一歩理性的にならなければならぬといふことは信ずるのである

◎以上は只一般的の場合に就いての議論であるが…

胃腸最新藥　チゲスチン



胃腸疾患、食慾不進、…

京日案内

◎外務員一名採用（廿歲以上三十歲迄）志望者は履歴書持參來談　本町一ノ四九松井松榮堂　電二三七八　680

◎イバラキ自轉車店は黃金町二丁目　イバラキ染工部は大和町一丁目　電話二九七番　682

▼御不用の書籍　オルガン、ピアノ、バヰオリン買受　ウツボヤ書店　616

◎開店　古本買受　京城本町三丁目　▲東京堂書店　681

◎見習店員　年齡十五六歲の者急入用本人來談市内に確實なる保證人を要す京城旭町一月柱冠支店　675

◎譲下宿屋　京城日拔の場所都合に依り道具付きの儘安價にて讓る　朝鮮ホテル向　中京館　670

◎産婆一名採用　年齡廿歲以上廿五歲まで履歴書持參本人直接來談あれ　京城旭町一　中央婦人病院　669

◎古本熱心高價買入△御報參上　◎是非御試貸を乞　△本町四　書肆群書堂　電話二七八一番　637

椿もち　文福堂　870

番外

明治生命保險株式會社代理店　山口呉服店　京城本町二丁目　電話九三九番　679

新舊債券月賦販賣　有益なる仲次店外務員募集　業案内無代進呈　▲京城櫻井町一丁目　百五大阪債券株式會社代理店　朝鮮池田

店員入用　尋常小學卒業程度　希望者履歴書携帶來談あれ　京城本町一丁目　塚谷出張店　677

京城春川間自働車　乘合　京城發午前八時　春川發午前九時　賃金片道四圓　京城水標橋通り　電話貳壹參八番　支配人松田壽男　50

電話開通二一八五七　萬染物商　京城魚市場際　若宮染工場　634

◎京城春川間自働車　賃金片道四圓　每日午前八時出發　京城大門通一丁目南大門通　廣橋自働車　主務金正淵　電話二一九番　648

恩給年金立替月利壹歩弐厘五毛　短期無保險迅速融通　京城武橋町三三番地　電話二二八三番　京城日報社北方一丁目　國江商會　619

眼鏡專門　各眼病院眼科醫用達　宮川大學堂　京城黃金町　振替京城壹壹貳九　661

祝仁川支局發展　仁川　井上義臣

祝仁川支局發展　仁川　友永寅次郎

祝仁川支局發展　材木商　仁川宮町　井上善四郎

祝仁川支局發展　仁川　市橋力

祝仁川支局發展　貿易商　仁川宮町　松本要五郎　電話八二番

祝仁川支局發展　仁川本町二丁目　久布白醫院　電話二六六番

祝仁川支局發展　うどんそば氷　仁川新町　龜屋　取次電話三〇〇番

祝仁川支局發展　綿布綿糸商　安盛支店　仁川本町　電話二四三番

祝仁川支局發展　仁川濱町　同　紵谷鐵工所　鑄工場　電話六五八番

祝仁川支局發展　和洋各種洗濯業　平尾洗濯店　仁川海岸町

祝仁川支局發展　仁川本町四丁目　太田與吉

仁川教育俱樂部　部員一同

女鳩

渡邊默禪

『四二』黒い影

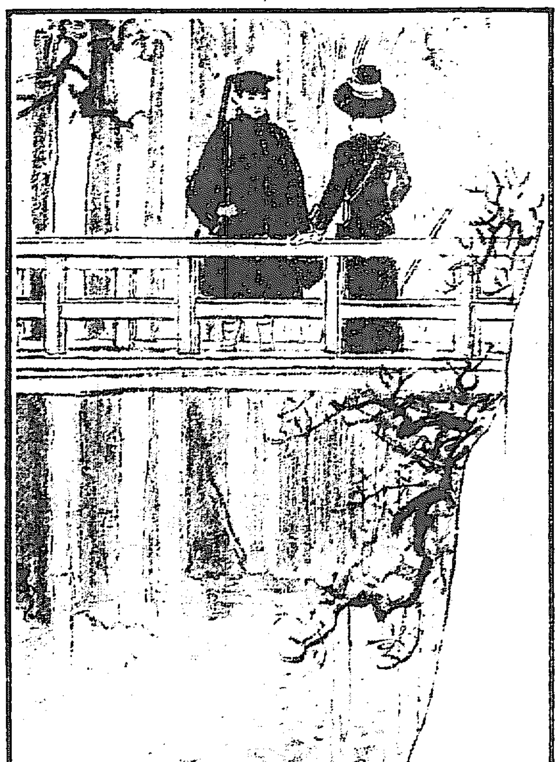
不審して問返す下から鳩子はふと一昨夜の出來事を憶ひ出した。

『あゝ、あのことですか。それは氣を注けてゐてよ。大野さん。だけども彼樣事は何う度もあるものぢやないでせう。又た行つたら大變よ。』

氣轉に想ふ答へる樣子が、さまで心に懸けては居ないものらしく想はれたので、大野は稍張合抜けがしたといつたやうに、少時默つて鳩子の顔を瞻つてゐたが

『貴女には僕がいつたことがまだ徹底しないんぢやないですか。證しこんなとただ思つてお在になるんです。』

『一昨晩のことを彼卿つてらつしやるのぢやないかつて』



『何うです、あれが表面に現れた一つの事實です。』

『父たあんなとが無いやうに用心しろと被仰るのでせう。』

『いや、そんな輕い意味ぢやないです。おやお能くお分りになるやうにお話をしますが、貴女は彼の出來事を何の原因もない偶然の災難だと、何う解釋してお在になりますか。』

『何うとしか思へないぢやありませんか。私、そんな泥棒なんかに殺されるやうな罪を造つた覺がないんですもの。それでも何か原因があること？大野さん。』

『有ります。原因がなくつてあんな兇行を貴女に加へる理由がありません。色情狂と殺人狂とを混淆にした狂漢でない以上は。』

『へえ──。』鳩子は意外のうちに幾分か冷笑を交へたやうな顔色をした

『ぢや、どんな原因なの。』

『その賊が何者だつたかといふことは、まさか貴女の想像にも浮いては來ないでせうね。』

『何うですとも。姿や顔さへまるつきり覺えて居ないくらゐなんですもの。千里眼ぢやあるまいし、そんな詳しい所まで推測がとくもんですか。少しでも心當りがあれば默つちや居ませんわ。とうに父樣に何う云つてよ。』

『何うでせう。』頷いて『それが僕に聞けば知れてゐるから不思議なんです。僕には手にとるやうに其面の消息が、明りかつて居るんです。』

『あら、それぢやあ知つて？まア。』嬉めて驚いて『誰れ？大野さん。』傍に寄つて來た。

『さ、それをお話する前に、一つお約束をして置きたいことが有るんですが、貴女は假令どんな事實を僕の口からお聞きになつても、固く秘密を守つて下さいますか。』

『守りますとも。』

『お父樣は勿論、生駒君なんかに些とでも此の事をお洩しになりますと僕は非常に困難な立場に陥るんですからね。いや僕は如何でも宜しいですが、その反動が貴女のお身に行きます。必と行くです。その危險を僕は大に恐れるですからね。何人にも漏らさんといふとをお誓ひなさるなら話しませう。』

『誓ひます。決して話しません。』

『よしツ。』大きく頷いて周囲にちよつこ目を流してから『鳩子さま、あの賊は源作の子息ですよツ。』

『え、爺の。』

『お花の兄なんです。そら、源作が話したでせう。放蕩を働いて、さんゞ惡い事をした結果、鄉里にも居られないやうな事になつて、二三年前に何處へか失踪したといふ無頼漢です。』

『あゝそんな話でしたわね。確か他所に漂泊してるとかいつてたその男なんでせう。』

『何うです。それが突然我々の旅行先に現れて來て、貴女を呪ひ殺さうといふ惡魔になつたのですよ。如何です、實に意外な話ぢやありませんか。』

眞面目に言ふ大野の口許を鳩子は眤と見詰めてゐたが、忽ち噴出すやうな笑の渦を美しい頬に見せて

『可厭よ、大野さん。私を欺かうと思つて……咎、咎ですよ。』

『な、な、何故咎ですか。』大野は躍起となつた。

齒科專門 京城南米倉町 大正齒科醫院

龍山元和歌の家跡(電話三八番)
御料理 あら玉
夏の台席は凉しき風清き漢江を一望に受けて座席のよいあら玉に限る
漢江遊船團體は弊店各遊船部と聯絡を取り特に勉強仕候

■俳友虎耳君の探鑛に就て　大塊

○何探る草踏み分けたる夏の山　大痴

○夏の山踏荒しけり黄金掘　虎耳

○夏の山黄金の風の身に薫る　一象

○黄金掘る人の裾や螢哉

◉慶北より　皐天

慶北の內陸に入る連日の降雨にて新道所々に破壊して自動車通せず馬車又は徒歩にて漸く尙州に著す

水害の道普請幾度馬車降りる

霖雨晴れ間徒歩すれば橋など落ちて

野苺の赤いが薬越し廿まそうな

百日紅二本咲く孝子閣古れり

新刊紹介

▲常識と科學(七月號) 新たに近重博士の戰爭と化學を發表し、愛知博士のラヂウムの話は本號を以て完結す、其他工業、通俗、海外消息の各記事あり

▲教育の實際(七月號) 小學校長加俸制度を改善すべし、我國女子の長所短所、最も公徳心の涵養に關係する特殊なる因果律、修身科の方面に就て、交戰國の教育、獨逸教育の側面其他教育資料

▲食物の養生(七月號) 脚氣の豫防法、オマナスの手輕な療法、ルイレキは不治の病に非ず、其他滋養食の調製法を以て論せり(二十五錢東京市日本橋區本石町三教育食醫社)

▲海紅(七月號) 碧梧桐の季題に關する疑問は本號を以て終を告げたり、紀行、一碧の連句論、若葉の外紅田其他現代の俳句的意義等あり

▲醫藥新報(七月號) ラツロツク氏の靈蝦について、反射機能及び傳何性の研究、外國醫療界雜錄、世界消息、科學醫學等の名論豐富なり

▲日本農業雜誌(七月號) 工業的木材利用に就て、誰れにも出來る土壌の肥料試驗法、園地利用有利の樹藝の栽培法、繭草の栽培と野生麝香の採取等有益なる記事多し(十錢東京市赤坂區青山南町六の八三某社)

▲今樣(七月號) 定價不詳 東京市神田區今川小路

▲フースヒー(七月號) 五錢東京府下荏原郡一二二番地

▲安東商業會議所月報(二五) 定價不詳 安東縣安東商業會議所

▲流行(七月號) 十五錢東京市日本橋區

讀者の文藝

▲一寸貴重の紙面を拜借して申上ます本町二丁目の壽亭には此頃興行は休んで居ますが下鮮人の殆ど巣窟と目してよい位である彼等は一種の不良遊民にして賭錢もやれば喧嘩口論に日を暮らし夜を明かすが不用心此上なしである殊に火の用心の點に於いても戰々恟々の至りではないか然るに近隣からの抗議なきか彼等の不良の徒輩を警察から一掃せられんことを祈る(見聞生)

▲注告生の憤慨 同情に餘りあり田舍の役所の御係り樣は事務多忙の故を以てか人民の出願書類を自己の机の抽斗等に入れて忘却したる事あり甚しきは人民より督促せられて初めて上部に申達せらるゝを實見したることありと(汶山の運轉手)

▲實見あきれた生が僕の知人の妻君が去る二月上旬に子宮癌の大手術をして其經過愛慮の折柄某葬式屋から突然葬式の註文取りに來た實に言語同斷の至りである然るにその事を病人が知つて其後神經昂ぶりしさながら呪はれてをる樣な心持になり不幸六月の下旬に危篤の狀態となつた故に親族知人に急を知らさむとせる折柄又候以前の葬式屋から註文取りに來た『馬鹿ツ生きて居るものに葬式の必要はない』と追ひ歸した一度ならず二度までも實に不都合極まる輩である其後二時間にして死亡發表すると同時に葬式屋は知人等に寄贈品の注文をねだる有樣は此世からなる地獄の使のやうな氣がした如何に商賣とは云ひながらこれ人道問題である社會の爲め此欄を借りて大いに葬式屋の注告をやらうではないかこれは事實先月末旭町にての出來事なり(同感生)

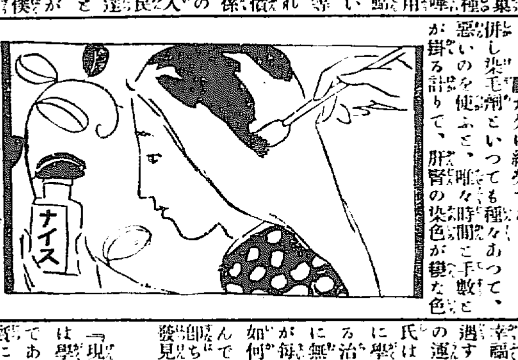
女は何より髪かたち

大切な髪の事 是非讀で下さい

■髪結さんに小言 髪の結方にも無論上手下手がありませうけれども、髪結さんに對する婦人の小言の中には、何方かといふと隨分無理な場合も少くない樣です。例へば如何に髪結さんの手が冴えてゐるにしても、肝腎のお客樣の髪の毛が惡かつたら何うでせう。髪が薄かつたり赤かつたり白毛まじりだつたりしたら何うしたつて結榮のするものではありません。

■髪が美くなくては… 婦人は實際何よりも髪かたちです。其髪かたちを結榮させるのには、根本の髪が美しくなければなりません。ですから髪の毛の赤い人、薄い人又白髪まじりの人々は、先づ髪結さんに小言を仰る前に、髪の缺點を充分に補はねばなりません。即ち先づ髪毛を、完全な染毛劑で染めなければなりません。

■充分に結榮する染毛劑といつても種々あつて、手數の掛る割りて、肝腎の染色が變な色になつたり、又は『はい染めました』といふ風に如何にも態とらしくなつたり、髪の質を惡くしたりしますから、染める以上は歩々位値が高くとも、完全な染毛劑として今一番信用のあるナイスを使ふに限ります。ナイスなら染めるのに何の手數もなく僅か二十分間で、性來髪の美い人其儘の色澤に、それも唯の一遍で見事に染り、襟や枕に色のつく心配がなく一度染めれば長い間保ちますから染めて充分染め榮わがし髪を結つて充分結榮がします。



■皆さんが御存じの通りですから今ナイスは大變な評判で、凡そ髪を染める方は必ず是ナイスでお染めになつてゐます。各博覽會で名譽の金銀牌受領の光榮を得たのは、獨りナイスを以て嚆矢と致します。定價は大瓶七十錢、小瓶四十錢、新小瓶三十錢。發賣元大阪心齋橋筋丹平商會、東京銀座尾張町丹平支店、全國の各化粧品店藥店にあり、思ひ立つた日が吉日ですスグ一度お試し下さい。

腦病神經「衰弱療法」

健腦は一切の幸福に要素たり

成功と頭腦

人間成功の要素が、懸つて何に在るかは諸君のよく之を知る處、即ち明敏なる判斷力流るゝが如く些の澁滯なき處理の才、而して活潑火の如き向上積極の精神の實質に何事の事業に於ても常に重大なる要素となつてゐるのである。之れ有る者は成功者たるべく之無くして失敗者たるべし。一に只頭腦健の可否によつて定まるを思へば、頭腦の大切であるかゞ解るであらう。健腦者は自から此要素が生じ、不健腦者は此要素に缺くるのである。然して前者は求めずして幸福を求めて尚不幸を得、失敗に遭遇す。實に悲慘暗黑なる腦病者の運命ではないか。醫學士常持爲治氏は是等不幸なる腦神經衰弱者の爲に學理と實驗とに基いた簡易な療法を著して、世に多き此患者に無代頒布をしてゐるが、其申込が毎日幾千と來ると云ふに依りても如何に世の多くの人が此病の爲に悩んでゐるかゞ解らう。常持學士とは即ちかの有名なる健腦劑レーベンの發見者である

頭痛持の不運

『現代は腦神經衰弱時代』であるとは學者の言であるが、まことに其通りであつて、是を醫學上より見る時は實に慘として社會の危機たるを感ずるのである頭痛のする人、不眠症の人、記憶力の薄い人、氣無精の人など一として不幸ならぬはない。此病氣の常として、自分の病氣を自覺しても重大視しないで何時か病勢を進めて了ふのであるが、實に痛嘆すべきである、自分では單に頭痛がして困る位に思うていても、周圍がそれでは免さない、曇天だと云つては重くるしく痛む頭、雨が降ると云つてはヅキ〱と後頭部の痛む頭は必ず日常の事務上に對して事をしたと云つては何等かの缺點を生ずる事務上の缺點は遂に生活上にも缺點を生せしむるに到るであらう。即ち惡い頭は、優れた頭に更つて地位を奪はれて了ふのである。以て頭痛を『頭痛がする』位に輕視出來ぬ所以が解せられやう。健腦劑レーベンはよく是等幾多の頭痛患者に對して、喜ばしく福音を傳へるものと云つて好い

不眠による不愉快

頭痛が輕視出來ぬ如く、不眠症も輕視してはいけない夜床について種々な取越苦勞や妄想に追はれて却々眠れず、眠らうと努むれば努むる程益々眼が冴へて、二時三時の曉近い頃漸くもとろ〱とするかと思へば、惡夢を見て汗びつしよりとなり漸す等の症候は、矢張此腦神經衰弱ヒステリーのそれであつて、此た時眠に不愉快な朝を迎へねばならぬ。して了ふ、で眠く惡いて一日を面白くなくして仕事に飽き易く欠伸が欠伸に出て事務中にも眠氣がするもの、それに睡眠不足が手傳つた此狀態は自分の日となるのである、悉いて家庭迄不愉快にしみならず、一刻も早く適法に從つて治療する必要がある適法とはレーベンの如き社會的聲價の確な健腦良藥に依るがよい、この常持學士の處方になれるレーベンは既に岡田醫學士の證明や森戸山腦病院長を始めとして陸海軍醫諸大家が下の如く廣く推奨されてゐるに依つても其眞價は知れやう、曰く、レーベンは第一に植物性製劑であつて米麥食の日本人の體質に適合せる事、第二に腦の要素リンサンを多量に含有せる事、第三に製劑法が最新式に完全無缺なる事、常持學士が苦心十年の成果は實に此權威ある健腦劑レーベンとなつたのだ

成功の導者

不幸なる運命より救はれんと欲する人は一刻も早くレーベンを攝取されよ、讀書をしてゐて、眼がボーとする、食慾が不進で何を喰ても不味のを單に眼が惡いと思ひ給ふな。胃が惡いと思ひ給ふな、是等は皆腦神經衰弱ヒステリーの一症候があつて、決して目藥や胃の藥では治らない先づ根本的に腦神經衰弱を治療する必要がある、此病氣が進んでは遂に、記憶を失はせ、決斷力を減らし精神は悲觀に傾き厭世に走つて結局自己の生活を壞滅に歸して了ふやうな事になるのである恐るべきは此病氣ではないか、速かに治療の道を講ぜよ、常持學士の健腦劑レーベンと腦神經衰弱療法『精神療法』の二書はよく貴下を幸福と成功に導くに充分な筈である、簡易平明何人にも解し得らるゝ此二冊の治療書は東京京橋區弓町二十二弘濟院中南定太郎宛にハガキで申込まるゝ時は直に無代贈呈せらるゝ筈であるから速刻に申込まれよ

わきが にて今迄彼是とお困りの方は此の藥を御用ひあれ他の必なき事請合ふ
ファーザーを御用ひあれ 定價一圓
京城黄金町 電話二九四九 山田文殊堂藥房

最上 鶴 醤油
京城府龍山元町 關西商會釀造所
電話三十九番 振替口座京城七三九番

次女蓮子儀葬儀の際は暑中の折柄にも不拘御會葬被成下候段厚く御禮申上候混雜中御洩も可有之こ存候に付新紙を以て御挨拶申上候

七月十二日

父 鈴木 倭

親戚一同

友人一同

大邱浦項間自動車時間

	一番	二番
上り 浦項發	[illegible]	[illegible]
安康同	[illegible]	[illegible]
慶州同	[illegible]	[illegible]
阿火同	[illegible]	[illegible]
永川同	[illegible]	[illegible]
河陽同	[illegible]	[illegible]
大邱著	[illegible]	[illegible]
下り 大邱發	[illegible]	[illegible]
河陽同	[illegible]	[illegible]
永川同	[illegible]	[illegible]
阿火同	[illegible]	[illegible]
慶州同	[illegible]	[illegible]
安康同	[illegible]	[illegible]
浦項著	[illegible]	[illegible]

浦項 電話七番 大塚農場自動車部
電話一一七番 大邱出張所

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行 立神丸 月 日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行 立神丸 月 日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行 小倉丸 月 日後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行 小倉丸 月 日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 月 日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 月 日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天眞丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
釜山本町五丁目 本船取扱店 大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆

○芝罘、大連行(關東都督府命令航路) 第十一共同丸 七月十四日後二時入港 七月十六日前十一時出帆
大連にて南滿洲鐵道主要驛並に青島行定期船と通し輸送取扱可仕候
○城津、清津、浦鹽行(元山出帆) 第一阪鶴丸 月 日後九時出
○西湖津沿岸各港を經て雄基行(元山出帆) 第三共同丸 月 日前八時出
阿波國共同汽船株式會社
仁川代理店 本町二丁目(電話一〇八番) 山下回漕部
元山代理店 (電話四番) 田回回漕部
京城取次店 南大門(電話二六八・二〇一七) 河村運送店

朝鮮郵船出帆

○全羅丸 七月廿一日 ○京畿丸 七月十五日 ○黄海丸 七月十五日 ○咸鏡丸 七月廿五日 (門司より釜山元山各港寄港經由) 釜山發
○慶城丸 七月十二日 ○昌平丸 七月十六日 ○鏡城丸 七月十六日 (元山より各港經由) 元山發
○忠清丸 七月廿五日 ○平壤丸 七月十七日 (城津清津浦鹽行復航釜山より門司又は長崎行) 元山發
○永興丸 毎月廿八回 (北へ咸鏡各港寄港) 元山發
○盈徳丸 七月 日 (甘浦、九龍浦、浦項各港寄港) 釜山發
○江陵丸 毎 日 浦項發 釜山發
○寶陽丸 長承浦、巨文島、濟州島寄港 釜山發
○三浦丸 七月十二日 (長生浦方魚津寄港) 釜山發
○海州丸 ○統濟丸 ○慶濟丸 ○工濟丸 毎日 釜山發
○順天丸 三日目毎ニ 木浦發
○慶興丸 七月十四日 木浦發
○慶興丸 七月 日 木浦發
○公州丸 七月 日 木浦發
○宗信丸 七月 日 仁川發
○江原丸 七月 日 仁川發
○麗水丸 ○晋州丸 七月十五日 仁川發
○錦江丸 ○南陽丸 毎日午前 仁川發
京城南大門 松原運送店
京城切符發賣所 內國通運會社支店

日本郵船仁川出帆

○天津丸 大連、大沽牛莊行 八月六日 正午出帆
○相模丸 七月十五日 正午出帆
○高砂丸 七月十五日 正午出帆
○三河丸 七月廿六日 正午出帆
仁川本町二丁目 電話十一番 堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆

木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
○萬代丸 七月 日後四時出帆
○大有丸 七月十六日後五時出帆
○神代丸 七月 日後五時出帆
○秀吉丸 七月十二日後五時出帆
仁川港町二丁目 高杉回漕部

大阪商船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行 安東丸 七月十五日 後五時出
×漳州丸 七月廿五日
×天草丸 七月廿一日
○鎮南浦、群山、神戸、大阪行 漂州丸 七月十三日 後二時出
×木浦、釜山、嚴原、若の浦、長崎行 信濃川丸 七月廿二日 信濃川丸 八月九日 後二時出
○鎮南浦、大連行 信濃川丸 七月十七日 信濃川丸 八月四日 後二時出
○南浦大連行 日米丸 七月廿五日 福州丸 七月十三日 正午出帆
○群山、神戸、大阪行 宮島丸 月 日 後五時出
○群山、釜山、横濱行 福州丸 七月十八日 日米丸 七月卅一日 後二時出
○清津、浦潮行(元山出帆)
○上海、基隆、打狗行(大連出帆) 安平丸 七月廿日 宮島丸 七月廿四日 後四時出
○天津行 基隆丸 七月三十日 前六時出
御注意 切符發賣所 京城 大阪商船會社仁川支店

商況 大阪三品